

# 吉野川水系河川整備計画 進捗状況報告

令和7年11月13日

国土交通省 四国地方整備局  
独立行政法人 水資源機構

# 河川整備計画の点検の位置づけ

## ◆河川法十六条の二（河川整備計画）

河川管理者は、河川整備基本方針に沿って計画的に河川の整備を実施すべき区間について、当該河川の整備に関する計画（以下「河川整備計画」という。）を定めておかなければならない。

## ◆河川法の一部を改正する法律等の運用について 平成十年一月二三日 基本通達

### 二 河川整備基本方針及び河川整備計画について

#### 2 河川整備計画の策定について

##### ⑤ 河川整備計画の変更について

河川整備計画は、流域の社会情勢の変化や地域の意向等を適切に反映できるよう、**適宜その内容について点検を行い、必要に応じて変更するものであること。**

## ◆吉野川学識者会議運営規約 平成27年5月1日

第1条 「吉野川水系の河川整備」に関して、学識経験を有する者が意見交換を行うとともに、次に掲げる事項について四国地方整備局長（以下、「局長」という。）に意見を述べるため四国地方整備局に吉野川学識者会議（以下、「学識者会議」という。）を置く。

一 吉野川水系河川整備計画（以下、「河川整備計画」という。）の策定、変更

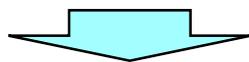
### 二 河川整備計画の点検

三 河川整備計画に基づいて実施される事業の評価

イ 再評価及び事後評価の対象となる事業

ロ 計画段階評価の対象となる事業

四 その他、河川整備に関する事項



見直しの必要性も含め、定期的に進捗を確認するため、河川整備計画の点検を実施。



四国地方整備局として必要に応じて河川整備計画の変更を実施。

# 河川整備計画の点検手法

## 《点検の内容》

◆ 河川整備の進捗、計画を変更しうる新たな視点を有するかを適宜検討し、点検を実施する。

### 【点検の内容】

- 1) 流域の社会情勢の変化(土地利用や人口・資産等の変化、近年の災害発生状況等)
- 2) 地域の意向(地域の要望事項等)
- 3) 事業の進捗状況(事業完了箇所、事業中箇所の進捗率等)
- 4) 事業の進捗の見通し(当面の段階的な整備の予定等)
- 5) 河川整備に関する新たな視点(地震津波対策、大規模洪水対策等)等

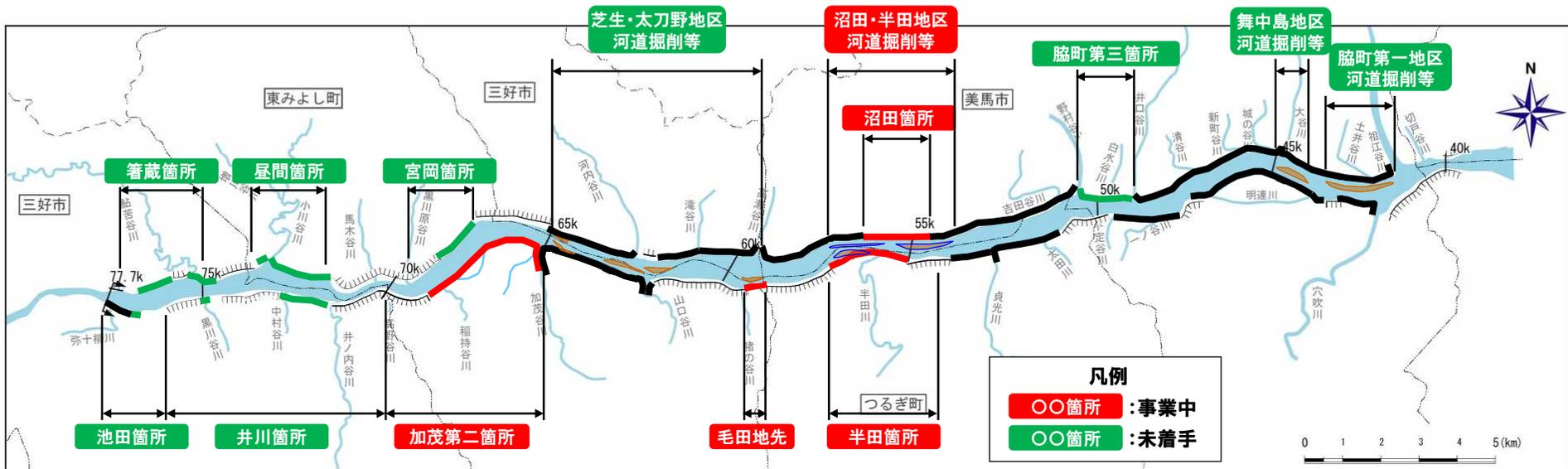
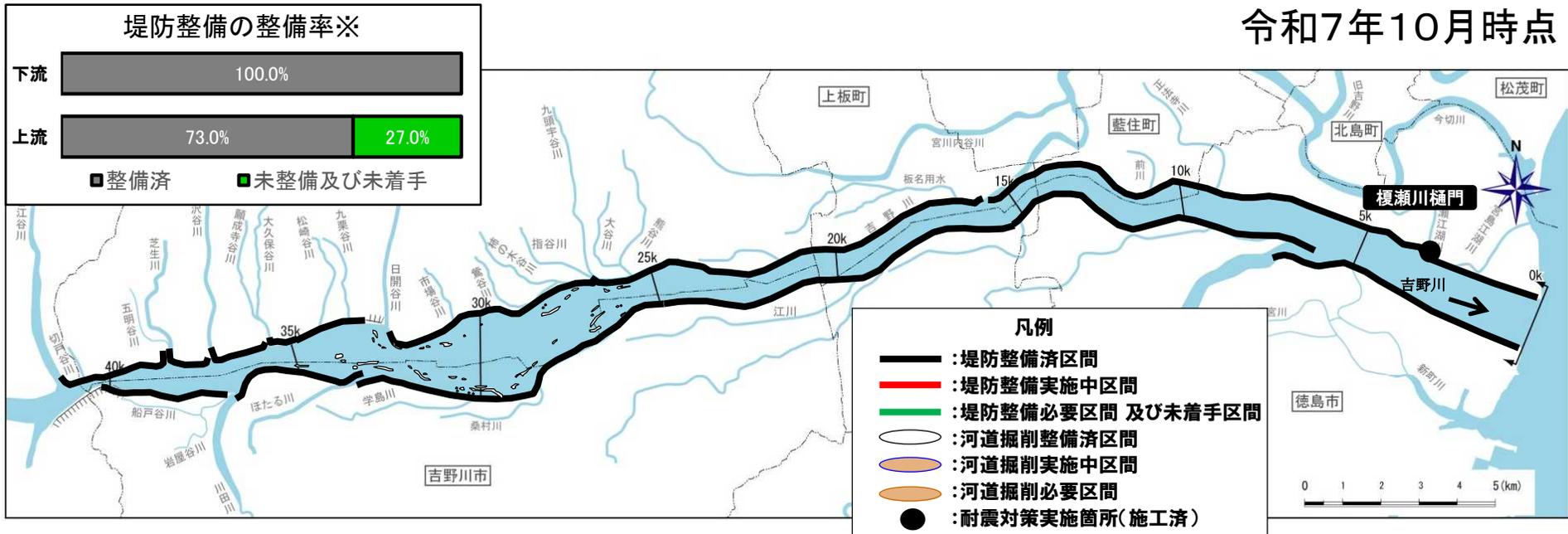
令和7年度の点検では、  
令和6年度通常点検(R6.7.18)以降の事業の進捗状況等をご確認いただく

# 吉野川水系河川整備計画 進捗状況について

|   |     |
|---|-----|
| 1. 堤防の整備・河道の掘削等（樹木伐採含む）、大規模地震・津波対策、侵食対策 | P4  |
| （1）沼田箇所 【堤防整備・河道掘削】（美馬市）                | P8  |
| （2）加茂第二箇所 【堤防整備】（東みよし町）                 | P11 |
| （3）半田箇所 【堤防整備】（つるぎ町）                    | P13 |
| （4）毛田箇所 【堤防整備】（東みよし町、つるぎ町）              | P16 |
| （5）新喜来・勝瑞箇所 【堤防整備】（鳴門市、北島町）             | P18 |
| （6）中喜来・広島箇所 【堤防整備・河道掘削】（松茂町）            | P20 |
| （7）榎瀬川樋門改築 【地震津波対策】（徳島市）                | P23 |
| （8）中島箇所 【堤防整備・地震津波対策】（徳島市）              | P24 |
| （9）老門箇所 【地震津波対策】（北島町）                   | P26 |
| （10）豊久・向喜来箇所 【地震津波対策】（徳島市、松茂町）          | P28 |
| （11）旧吉野川河口堰等 【地震津波対策】（松茂町、北島町、徳島市）      | P31 |
| （12）上板箇所 【侵食対策】（上板町）                    | P32 |
| （13）藍住箇所 【侵食対策】（藍住町）                    | P34 |
| （14）応神箇所 【侵食対策】（徳島市）                    | P35 |
| 2. 施設の維持管理                              | P36 |
| 3. 総合水系環境整備事業                           | P40 |
| 4. 柳瀬ダム 宮前地区地すべり対策                      | P42 |
| 5. 早明浦ダム再生事業                            | P43 |
| 6. その他（情報提供）                            | P45 |

# 1. 堤防の整備・河道の掘削等(樹木伐採含む)

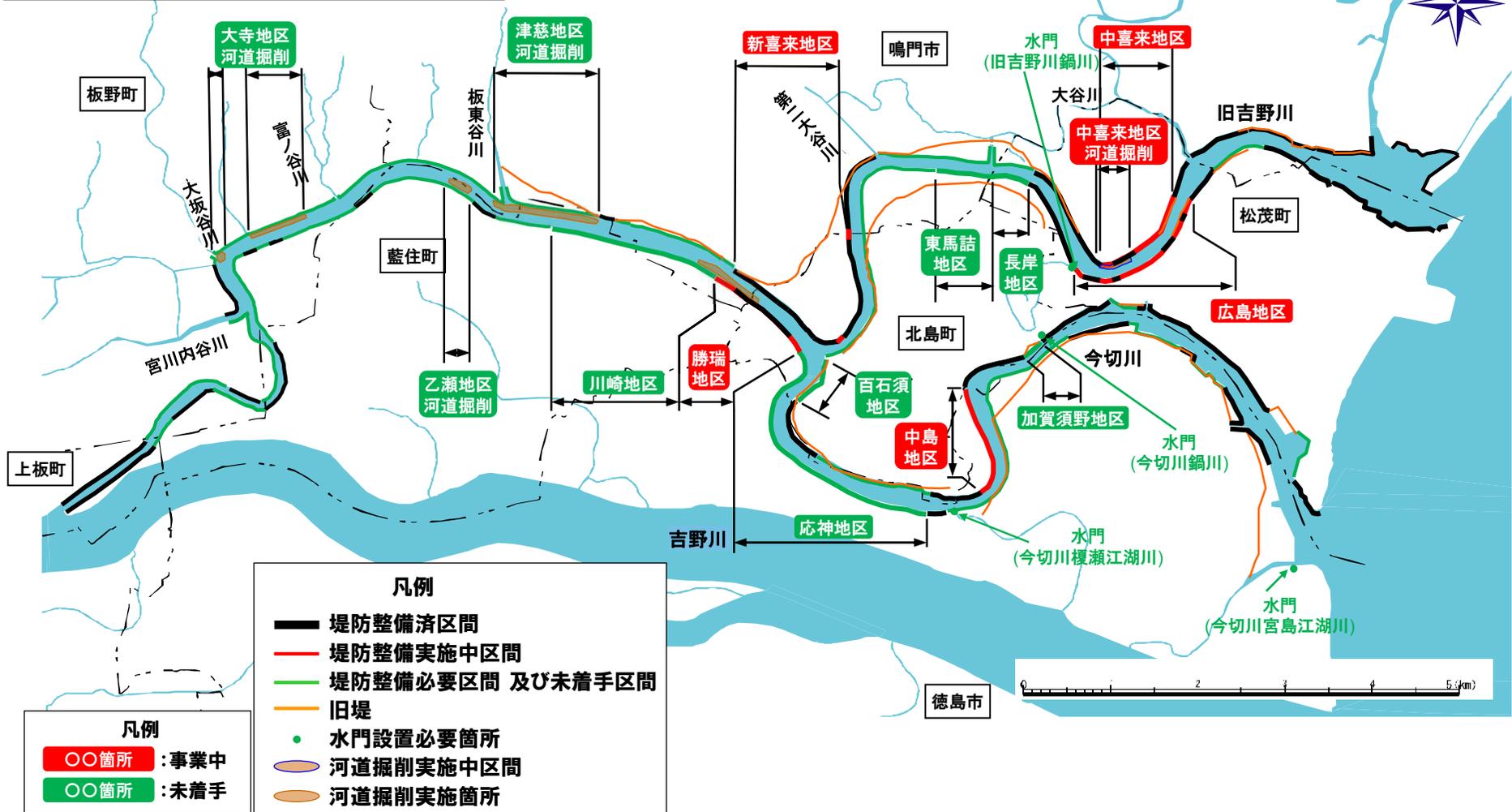
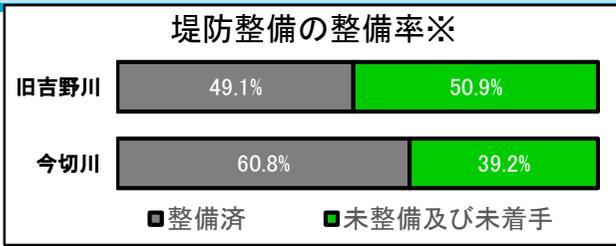
令和7年10月時点



※整備率: 整備済延長を堤防必要延長で割ったもの

# 1. 堤防の整備・河道の掘削等(樹木伐採含む)

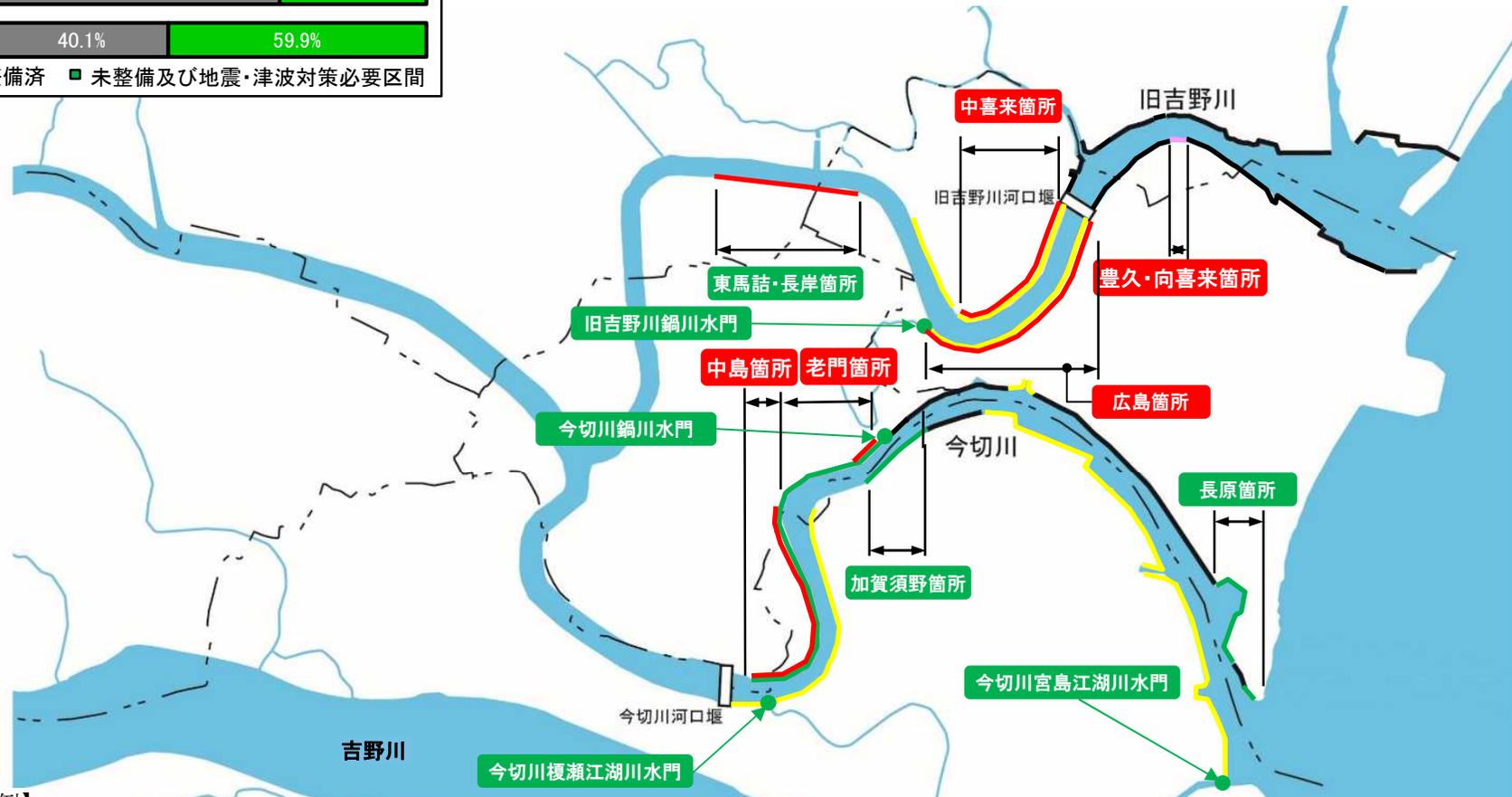
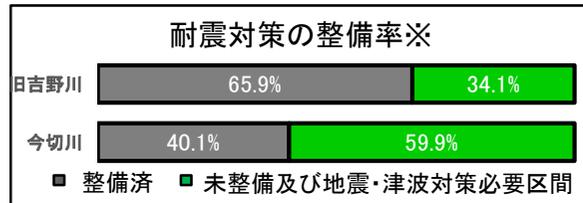
令和7年10月時点



※整備率: 整備済延長を堤防必要延長で割ったもの

# 1. 大規模地震・津波対策

令和7年10月時点



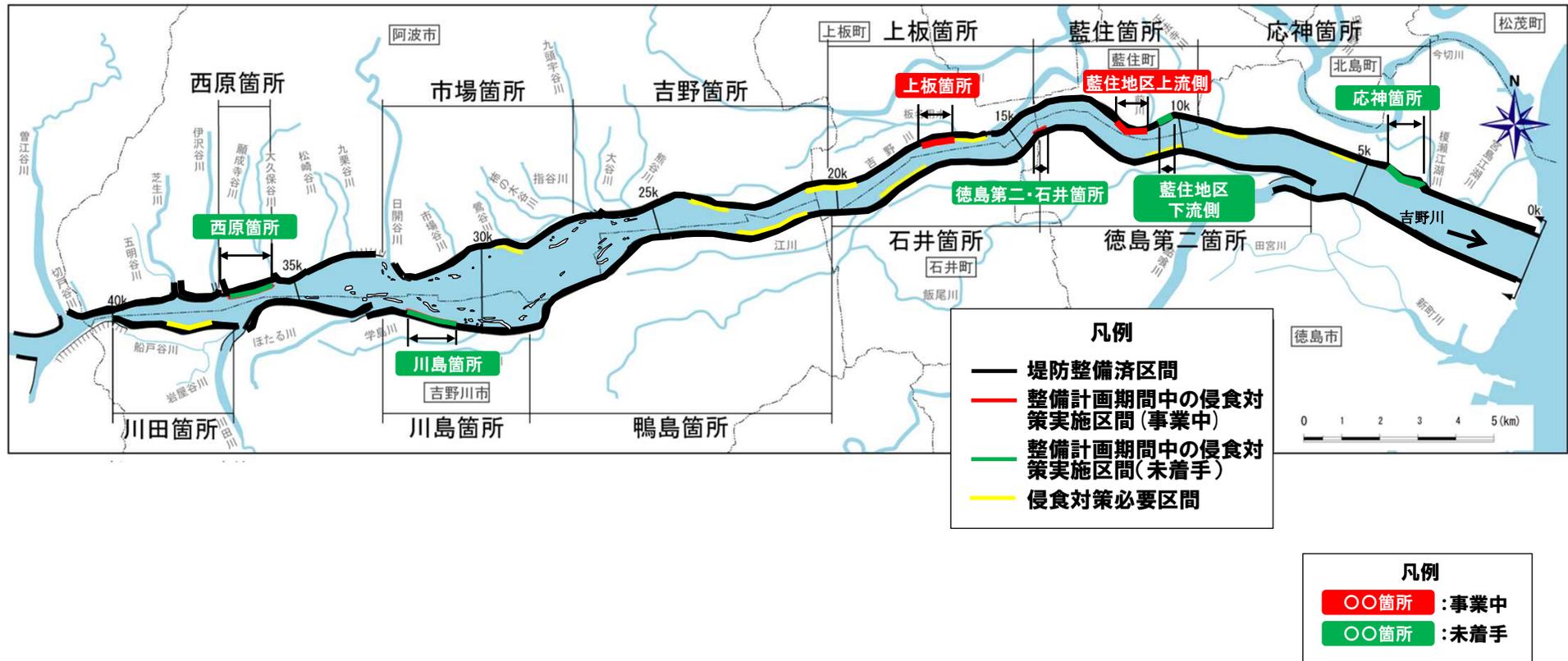
- 【凡例】
- 1. 洪水対策と重複する区間として築堤等対策を進める箇所
  - 2. 昭和南海地震と同規模の地震・津波による浸水被害を防止するために液状化対策を実施する区間
  - 3. 2003中防二連動(計画津波)と同規模の地震・津波による浸水被害を防止するために液状化対策を実施する区間
  - 4. 液状化対策必要区間
  - 5. 対策実施済箇所

- 凡例
- ○ 箇所 : 事業中
  - ○ 箇所 : 未着手

※整備率: 凡例に記載している「5. 対策実施済箇所」を「1. 2. 3における対策必要延長」で割ったもの

# 1. 侵食対策

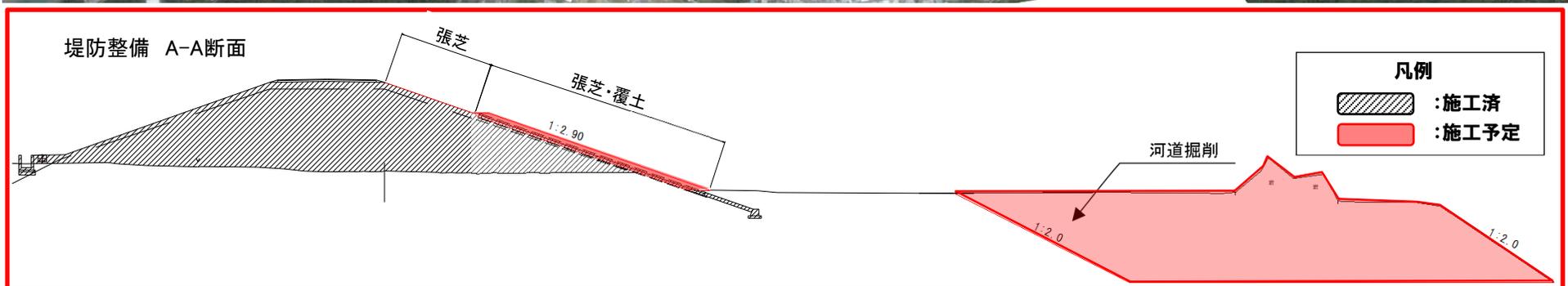
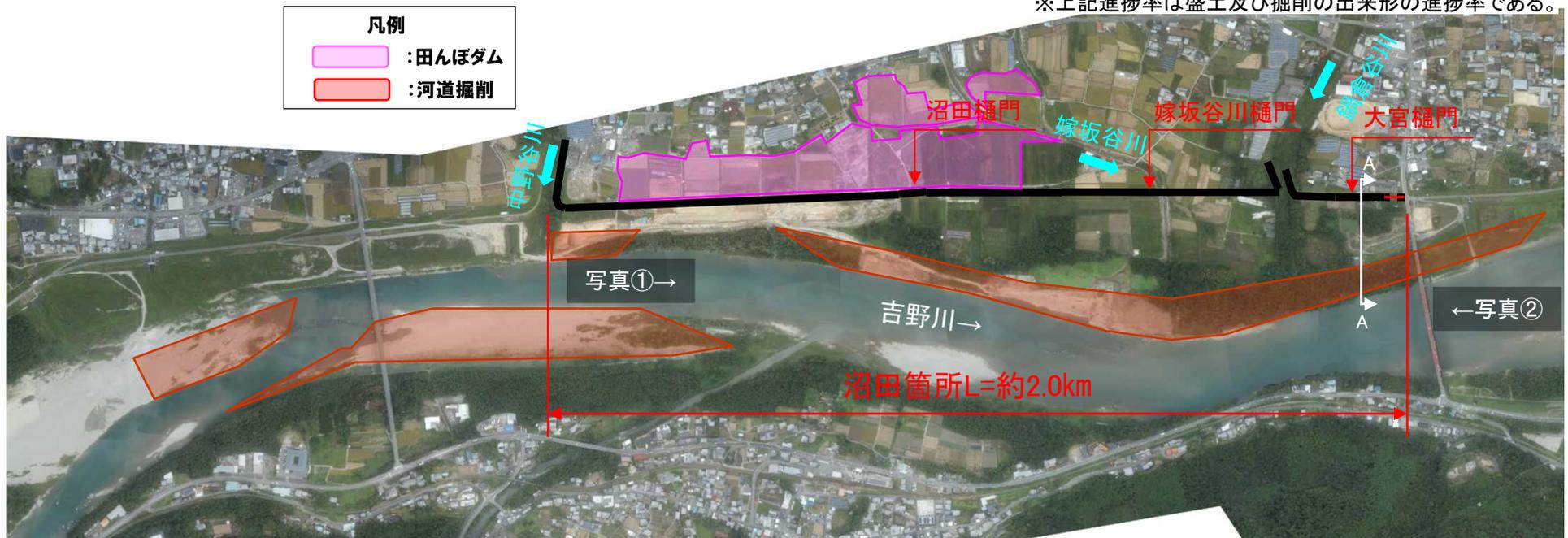
令和7年10月時点



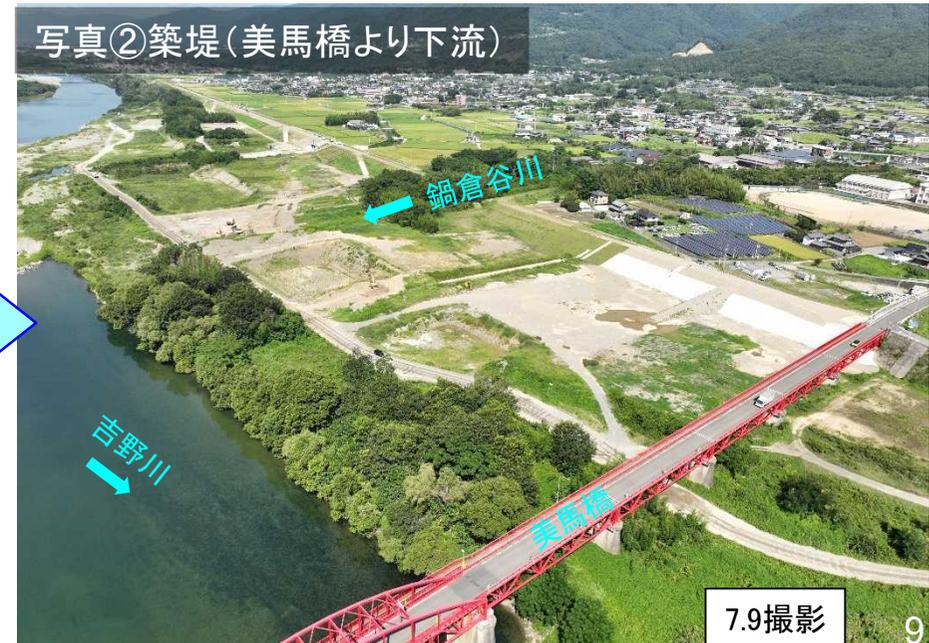
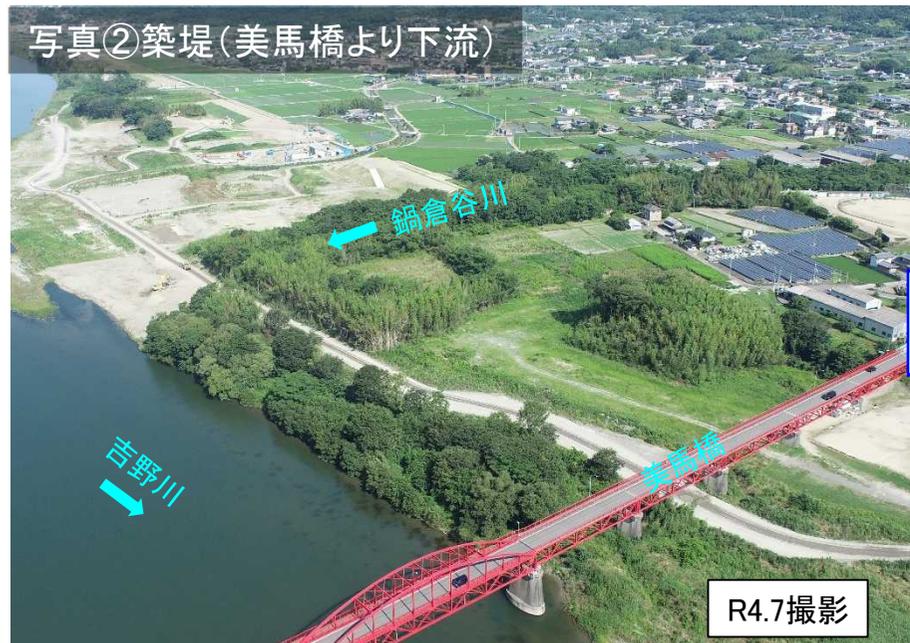
# (1) 沼田箇所 事業進捗状況

- 沼田箇所は、戦後最大洪水である平成16年10月台風第23号では、15戸の家屋を含む48.4haの浸水被害が発生しており、吉野川の氾濫による浸水被害の防止を目的とし、平成29年度より築堤事業に着手した。
- 令和7年9月末時点で築堤盛土の進捗率は約97%である。また、流下断面を確保するために行っている河道掘削の掘削進捗率は約31%である。
- また、堤内側では徳島県により、県内初の田んぼダムの取り組みが進められている。

※上記進捗率は盛土及び掘削の出来形の進捗率である。

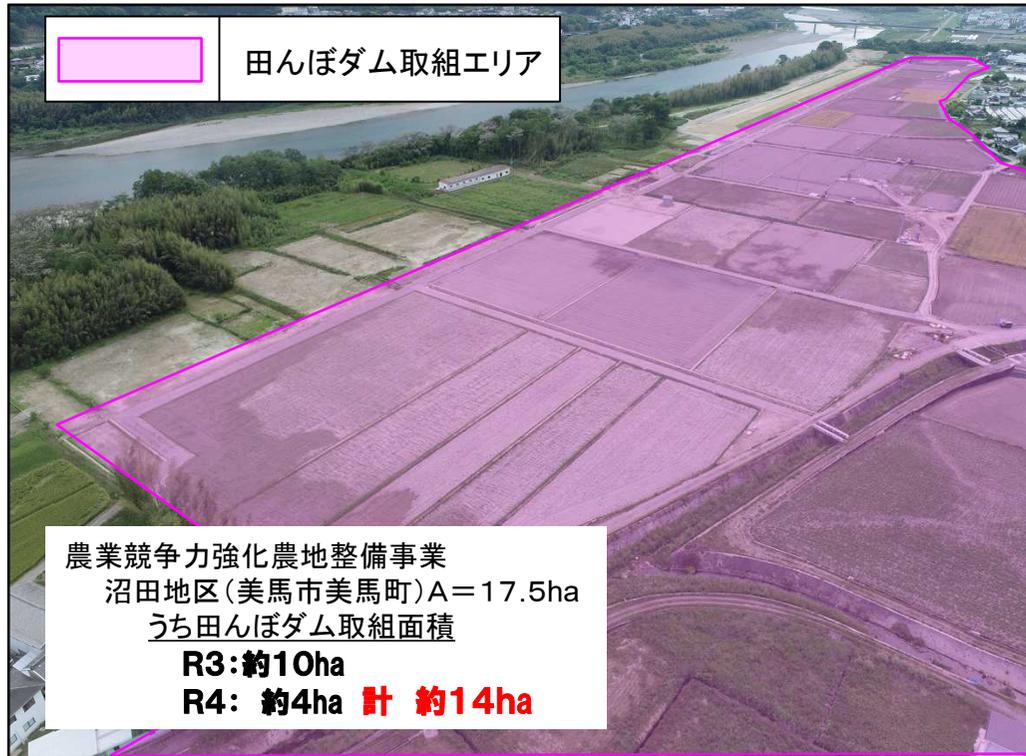


# (1) 沼田箇所 事業進捗状況



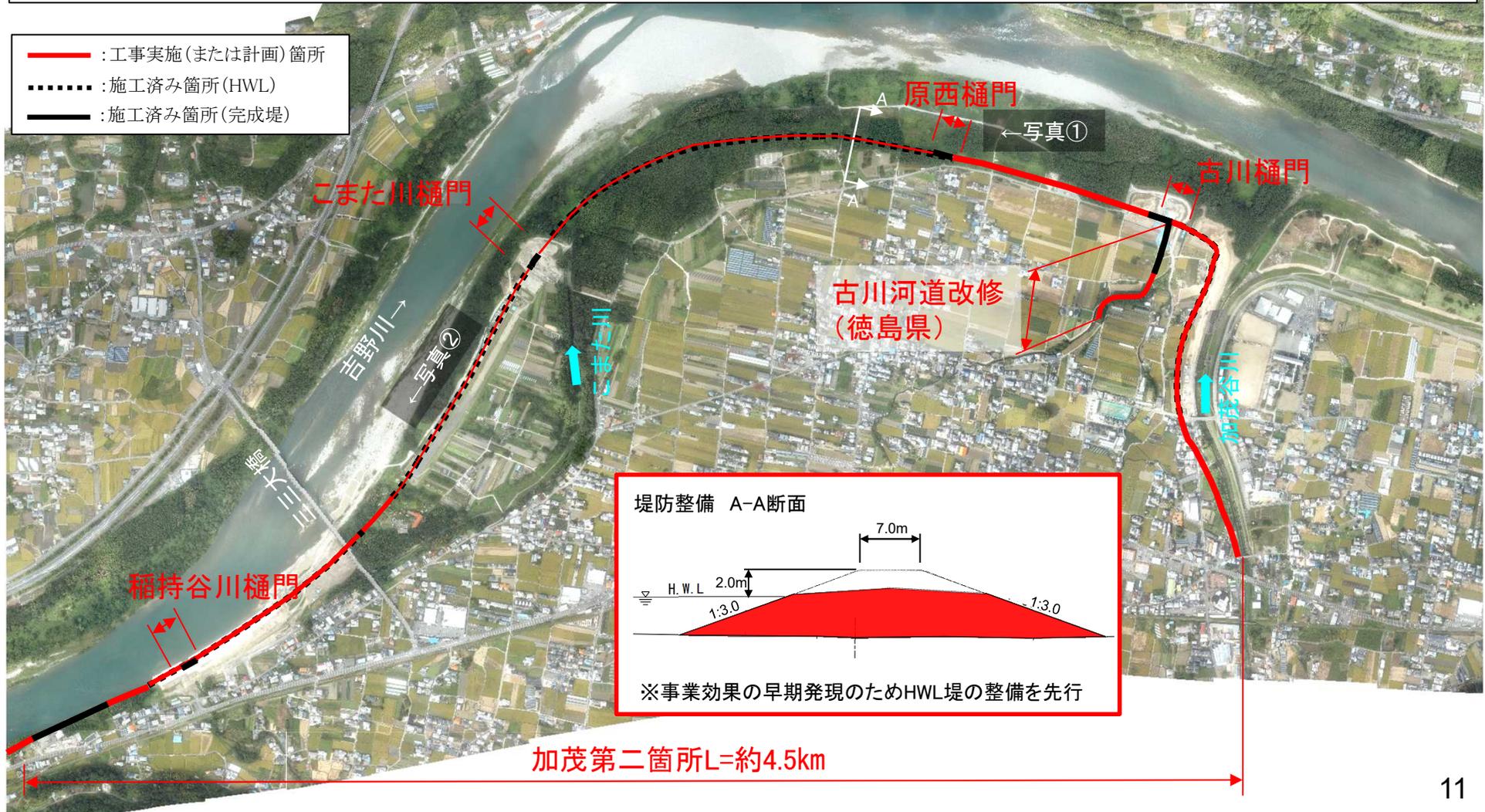
# (1) 沼田箇所 事業進捗状況

ほ場整備事業の実施地区での「田んぼダム」の取組



## (2)加茂第二箇所 事業進捗状況

- 加茂第二箇所は、戦後最大洪水である平成16年10月台風第23号では、42戸の家屋を含む54.4haの浸水被害が発生しており、吉野川の氾濫による浸水被害の防止を目的として、平成25年度より築堤事業に着手した。
- 築堤延長が長大であるため、事業効果を早期に発現させるためHWLの堤防の高さを確保する施工を優先して進めている。令和7年9月末時点で事業進捗率は約84%である。
- また、堤内側では、支川古川の流下能力向上のため河道改修を実施予定である他、古川周辺において東みよし町に災害危険区域に係る条例が令和7年7月1日に制定され、今後具体の番地指定が実施される予定。



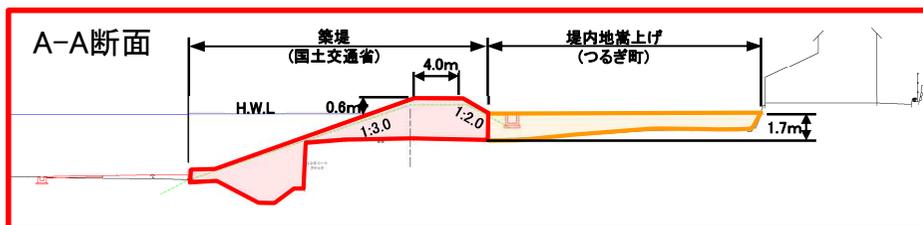
## (2)加茂第二箇所 事業進捗状況



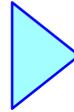
# (3)半田箇所 事業進捗状況

- 半田箇所は、戦後最大洪水である平成16年10月台風第23号では、7戸の家屋を含む9.5haの浸水被害が発生しており、吉野川の氾濫による浸水被害の防止を目的として、令和3年度より築堤事業に着手した。
- 築堤事業に併せて、まちづくりと一体となった築堤事業を推進している。令和5年度から工事着手し、令和7年9月末時点で盛土進捗率は約59%である。また、堤防整備が困難な家屋や土地への対応として、つるぎ町による周囲堤防や災害危険区域の指定が令和4年10月に完了する等、流域治水の取り組みも実施している。

※上記進捗率は盛土の出来形の進捗率である。



# (3)半田箇所 事業進捗状況



# (3)半田箇所 止水対策等(つるぎ町:流域治水の取組み)

半田箇所平面図



②住宅移転助成



①周囲堤及び止水ゲート

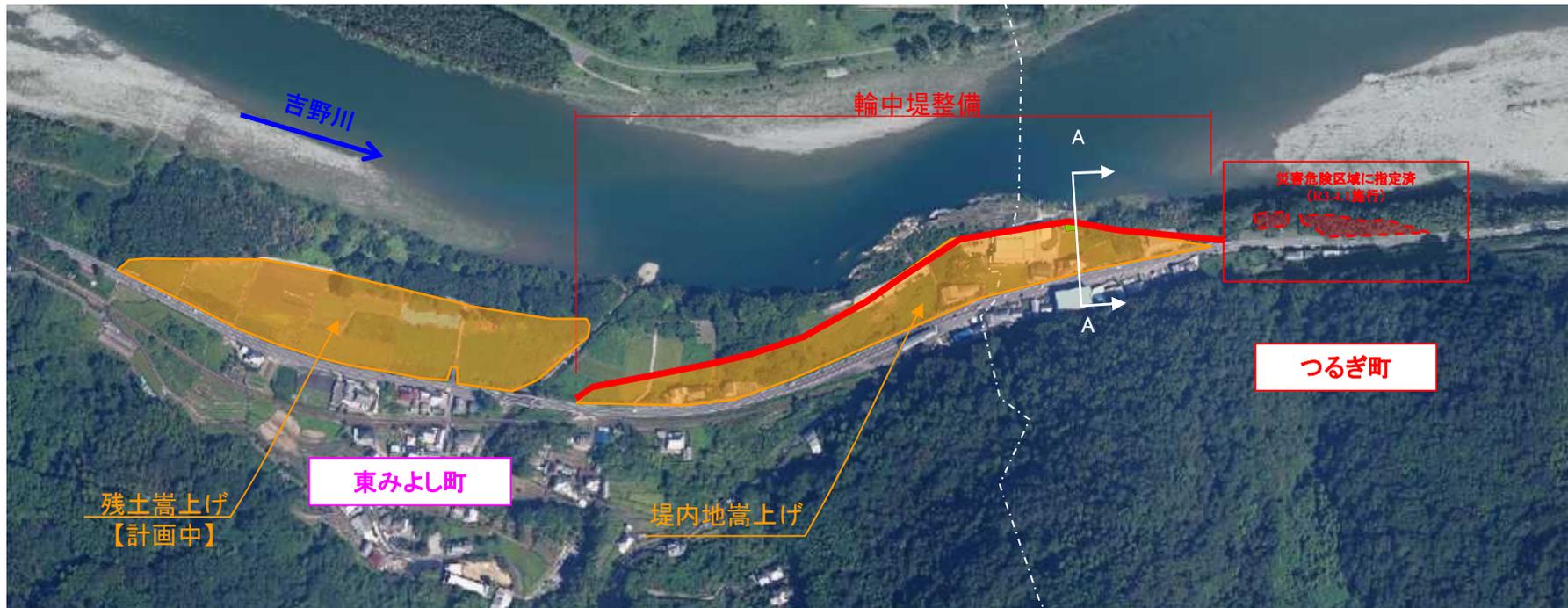


③周囲堤及び止水ゲート

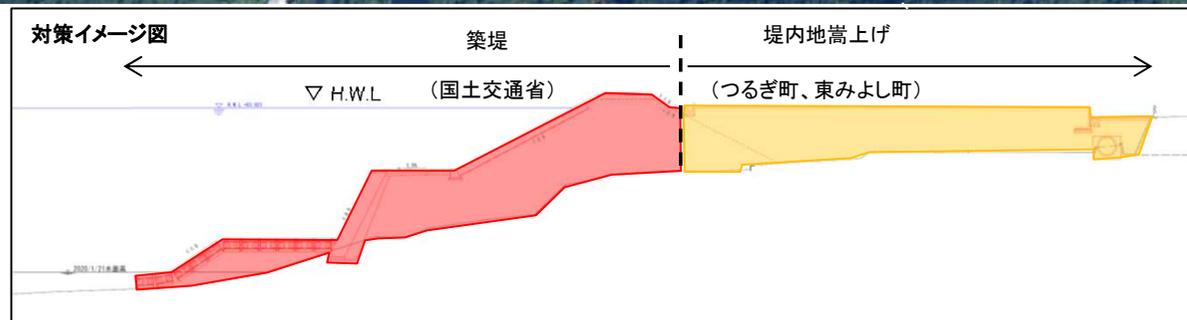


## (4)毛田箇所 事業進捗状況

- 毛田箇所は、戦後最大洪水である平成16年10月台風第23号では、2戸の家屋を含む6haの浸水被害が発生しており、吉野川の氾濫による浸水被害の防止を目的とし、令和5年度より築堤事業に着手した。
- 築堤事業に併せて、つるぎ町、東みよし町による堤内地の嵩上げ事業が実施されるなど、まちづくりと一体となった築堤事業を推進している。令和5年度から工事着手し、令和7年9月末時点で盛土進捗率は4%である。また、堤防整備が困難な家屋や土地への対応として、つるぎ町による災害危険区域の指定が令和3年4月に完了する等、流域治水の取り組みも実施している。



A-A断面



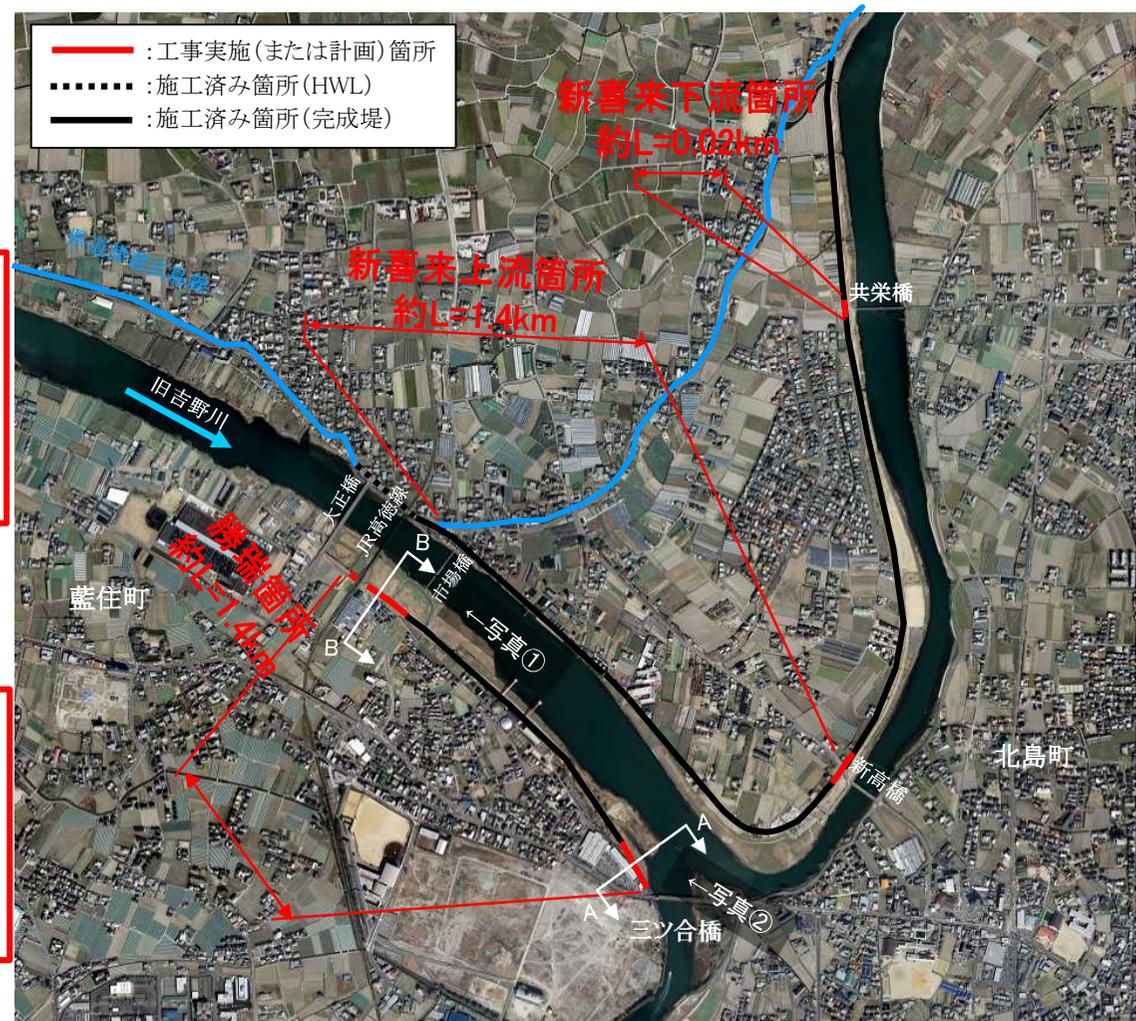
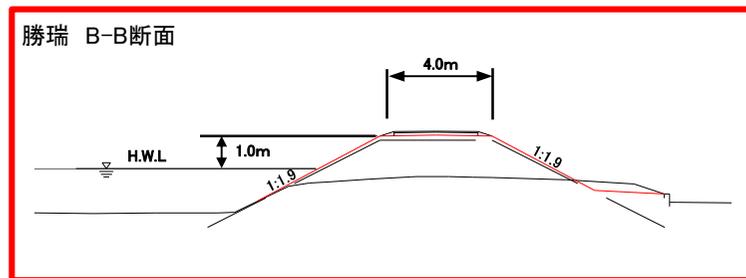
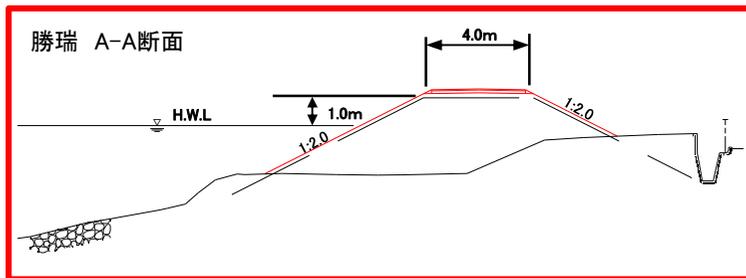
# (4)毛田箇所 事業進捗状況



# (5)新喜来・勝瑞箇所 事業進捗状況

- ▶ 過去より浸水被害が頻発しており、旧吉野川の氾濫による浸水被害の防止を目的とし、勝瑞箇所は昭和59年度に、新喜来箇所は平成5年度に築堤事業に着手した。
- ▶ 令和7年9月末時点で盛土進捗率は新喜来箇所では約95%、勝瑞箇所では約86%であり、完成に向けて事業を推進していく。

※上記進捗率は盛土の出来形の進捗率である。



# (5)新喜来・勝瑞箇所 事業進捗状況

写真①勝瑞箇所(工事着手前)



写真①勝瑞箇所(施工中)



写真②勝瑞箇所三ツ合橋付近(工事着手前)



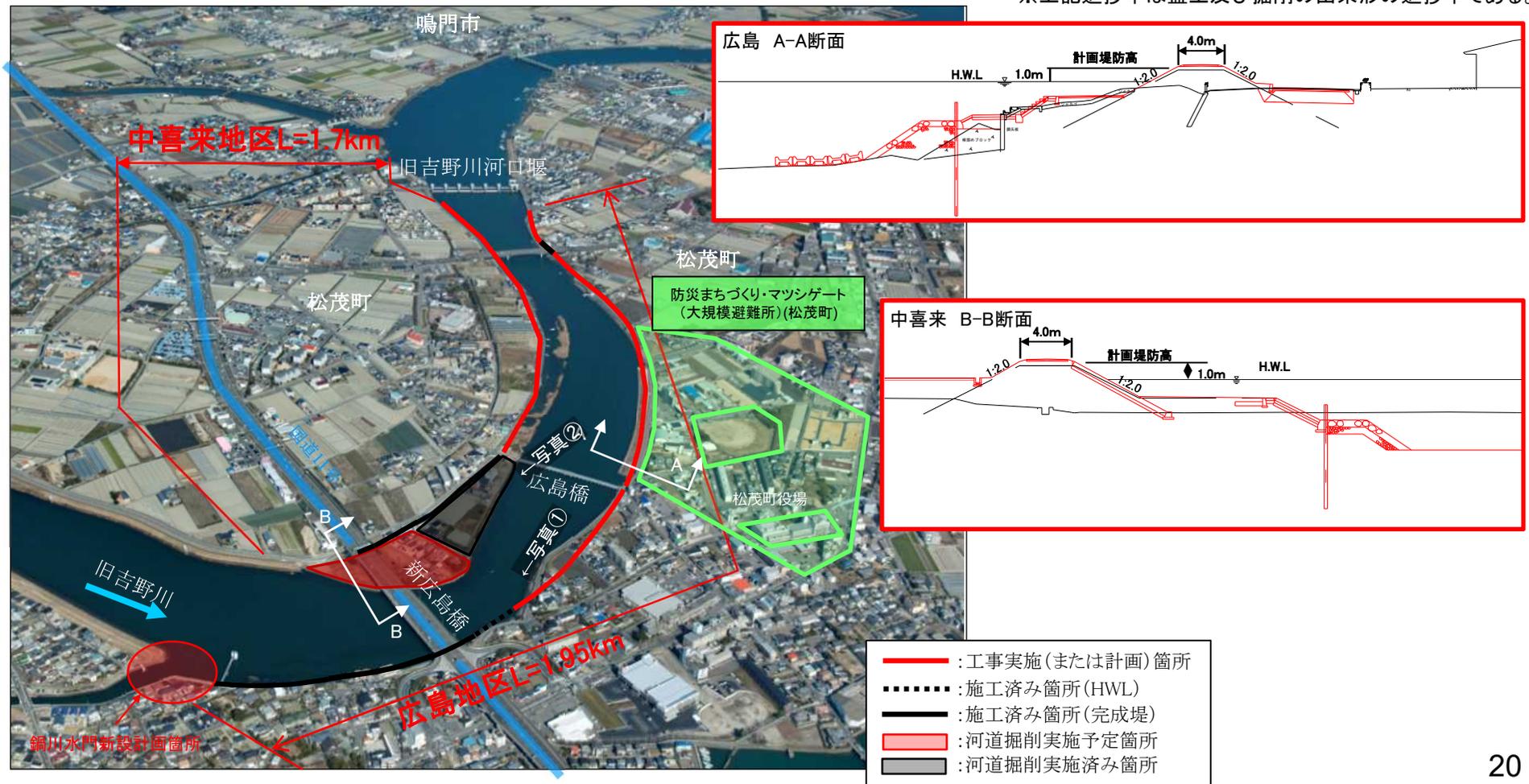
写真②勝瑞箇所三ツ合橋付近(施工中)



# (6)中喜来・広島箇所 事業進捗状況

- 過去より浸水被害が頻発しており、旧吉野川の氾濫による浸水被害の防止を目的とし、中喜来箇所は平成25年度に、広島箇所は平成24年度に築堤事業に着手した。
- 令和7年9月末時点で盛土進捗率は中喜来箇所では約23%、広島箇所では約37%、中喜来箇所の掘削の進捗率は約60%であり、完成に向けて事業を推進していく。
- 築堤事業に併せて、松茂町の計画している公園整備や水辺整備と連携し河川整備を進め、洪水被害の軽減と良好な水辺空間の整備を目指す。
- また、広島箇所の背後地にはマツシゲートが整備済みであり、災害復興時の重要な拠点となっている。

※上記進捗率は盛土及び掘削の出来形の進捗率である。



# (6)中喜来・広島箇所 事業進捗状況

写真①広島箇所(工事着手前)



写真①広島箇所(施工中)



写真②中喜来箇所(工事着手前)



写真②中喜来箇所(施工中)





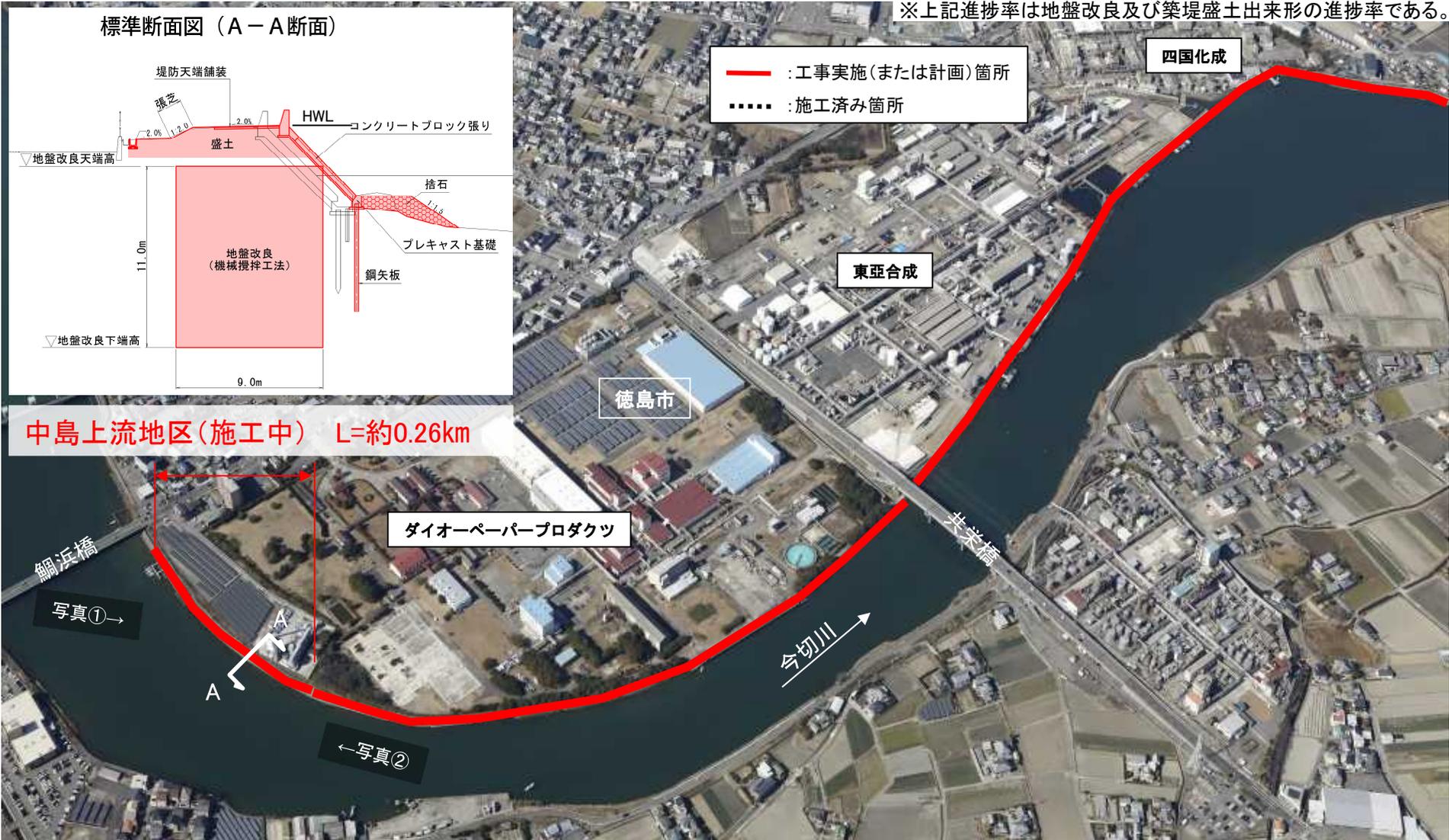
## (7) 榎瀬川樋門改築 事業進捗状況

- 今後30年以内に60～90%程度以上の確率で南海トラフ地震の発生が予想されているため、吉野川の津波遡上区間における排水門の耐震補強として、平成24年度に榎瀬川樋門の耐震補強に着手した。
- 令和7年度に完成。



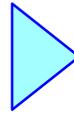
# (8)中島箇所 事業進捗状況

- ▶ 今後30年以内に60～90%程度以上の確率で南海トラフ地震の発生が予想されているため、旧吉野川において、地震・津波による被害の軽減を図ることを目的として、令和4年度に着手した。
- ▶ 令和7年9月時点の進捗率は約5%であり、引き続き無堤部対策及び堤防の耐震対策を推進していく。



# (8)中島箇所 事業進捗状況

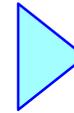
写真①上流より望む(工事着手前)



写真①上流より望む(施工中)



写真②下流より望む(工事着手前)



写真②下流より望む(施工中)

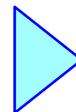
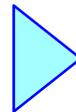


# (9)老門箇所 事業進捗状況

- ▶ 今後30年以内に60～90%程度以上の確率で南海トラフ地震の発生が予想されているため、今切川において、地震・津波による被害の軽減を図ることを目的として、令和6年度に着手した。
- ▶ 令和7年9月時点の進捗率は約0%であり、引き続き堤防の耐震対策を推進していく。



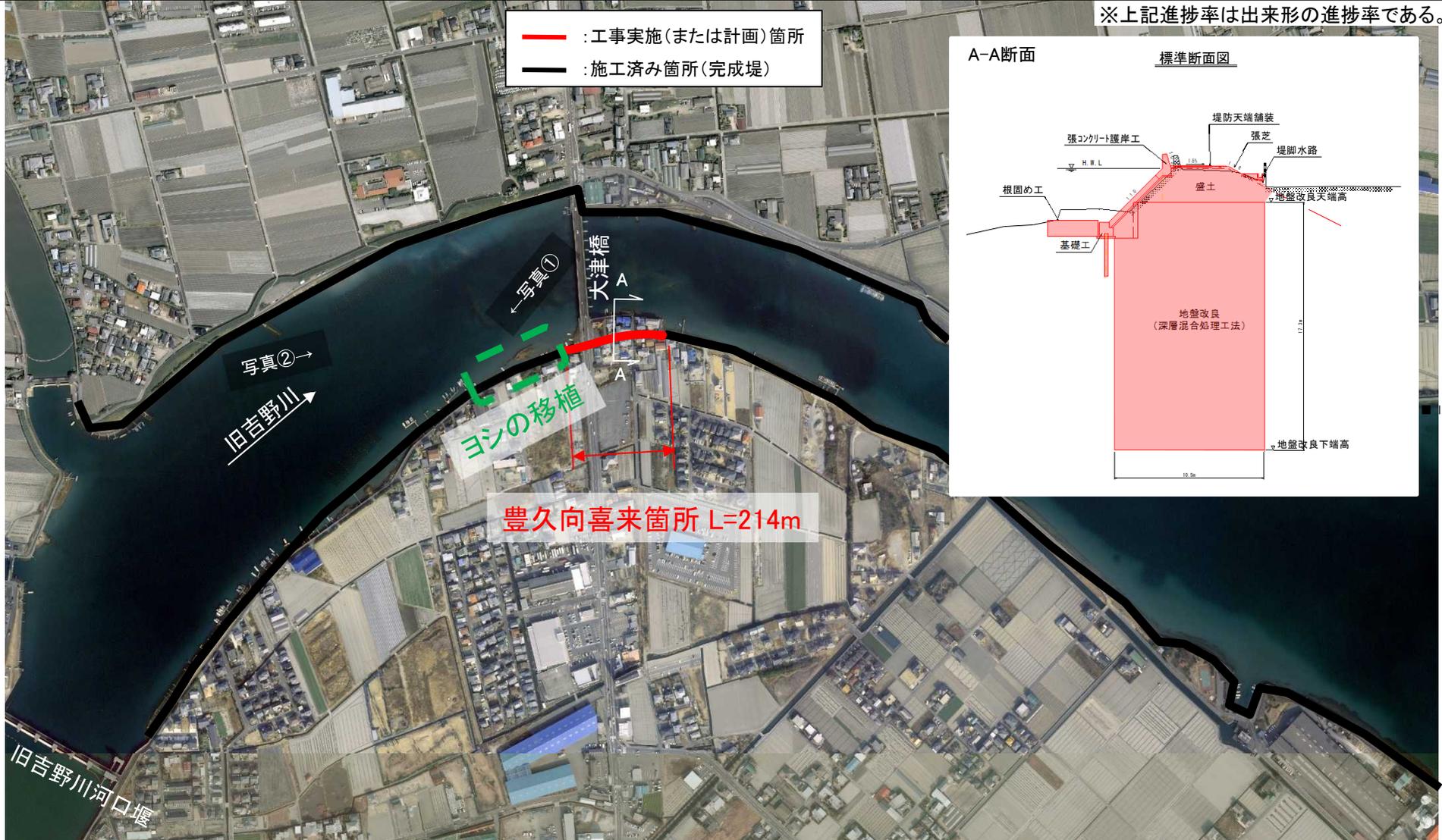
# (9)老門箇所 事業進捗状況



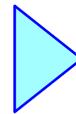
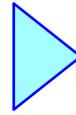
# (10)豊久・向喜来箇所 事業進捗状況

- ▶ 今後30年以内に60～90%程度以上の確率で南海トラフ地震の発生が予想されているため、旧吉野川において、地震・津波による被害の軽減を図ることを目的として、平成23年度に着手した。
- ▶ 令和7年9月時点の旧吉野川河口堰下流の進捗率は、約97%であり、引き続き堤防の耐震対策を推進していく。

※上記進捗率は出来形の進捗率である。

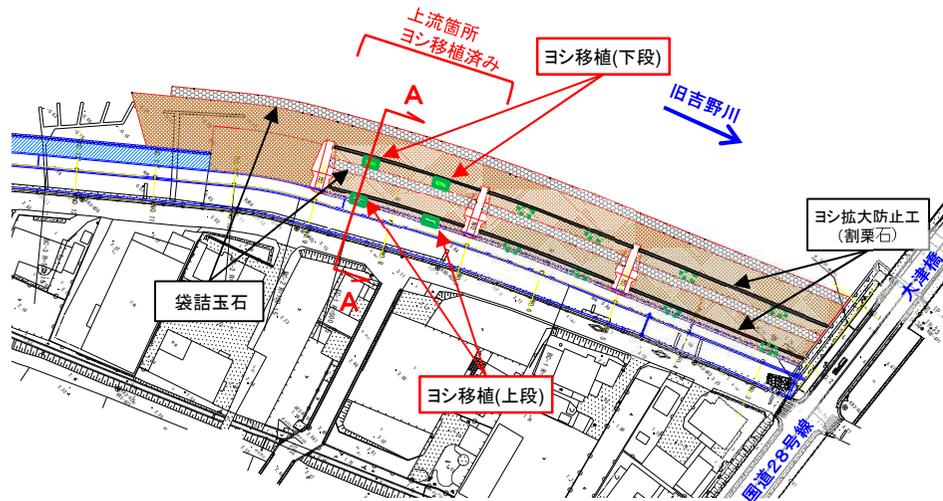


# (10)豊久・向喜来箇所 事業進捗状況



# (10) 向喜来箇所 ヨシの移植 (環境に対する影響緩和 (ミティゲーション))

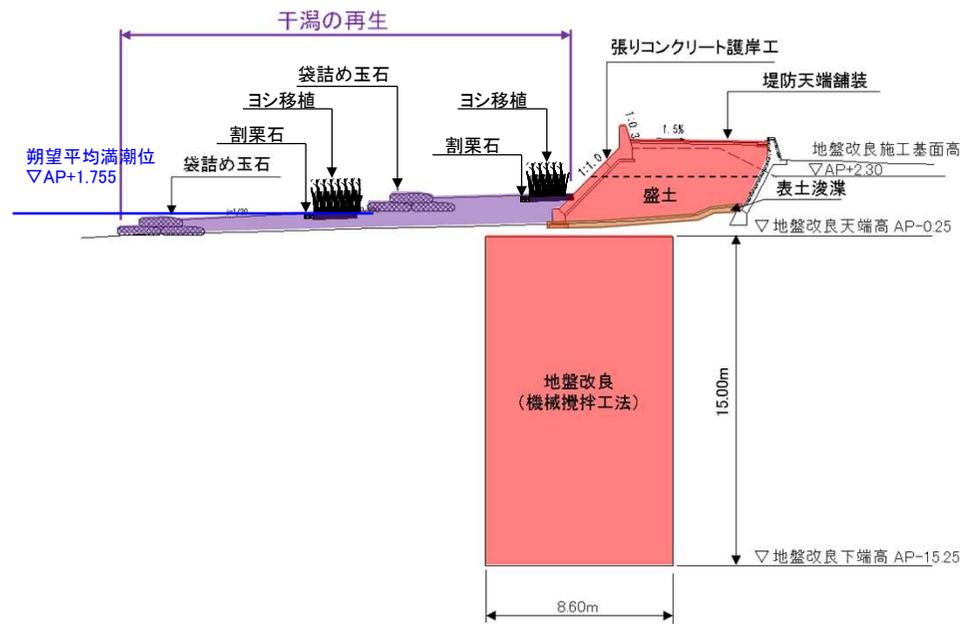
平面図



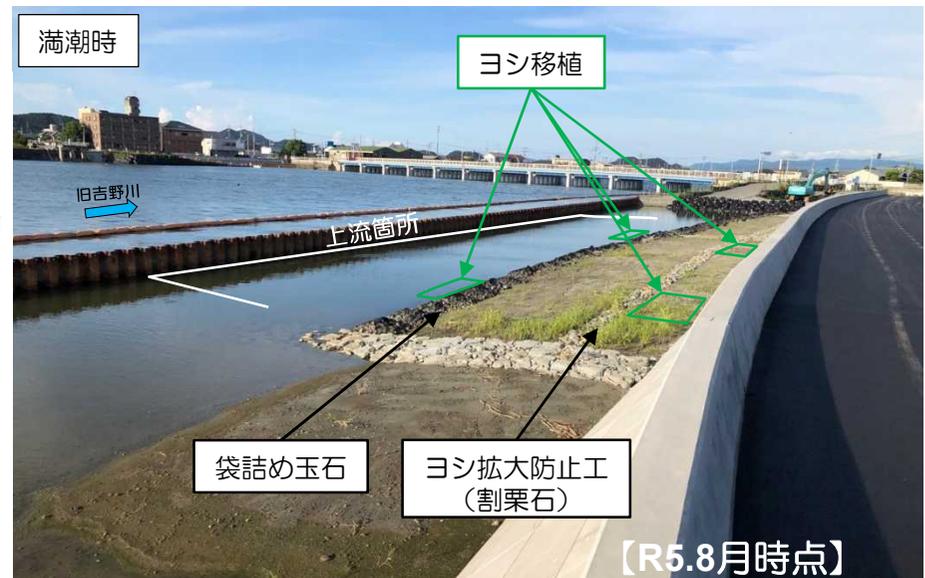
移植状況



標準断面図 (A-A断面)

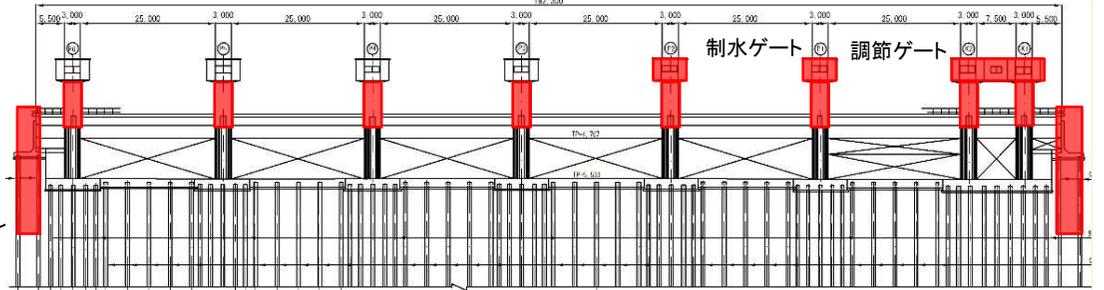


満潮時



# (11)旧吉野川河口堰等 大規模地震対策事業

- 本事業は旧吉野川河口堰・今切川河口堰において、大規模地震等の危機事象に対して確実な機能発揮ができるように所要の耐震性を確保し、安全な施設管理を図るため施設の改築を行うものである。堰本体の耐震性を確保した上で、被災時の影響を考慮し、治水及び利水面で極めて緊急性の高い施設を対象に対策を行うこととして令和5年度に着手した。
- 令和7年度から工事着手し、令和7年9月より門柱耐震対策工事を開始している。

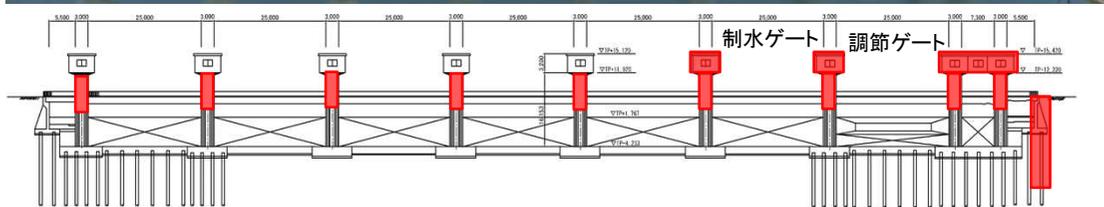
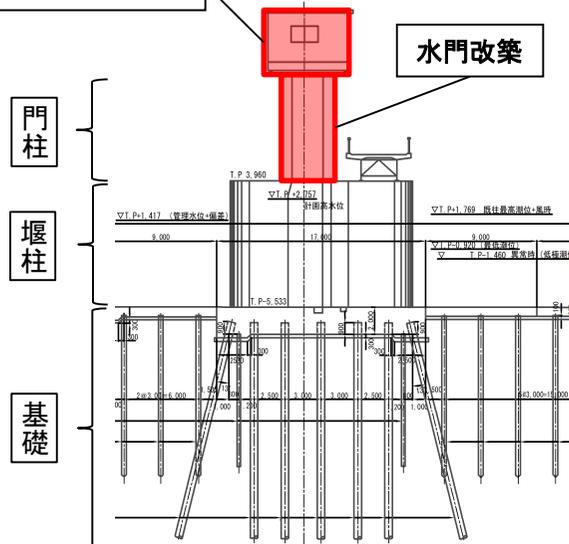


【左岸】

【右岸】

操作設備等改築

護岸改築



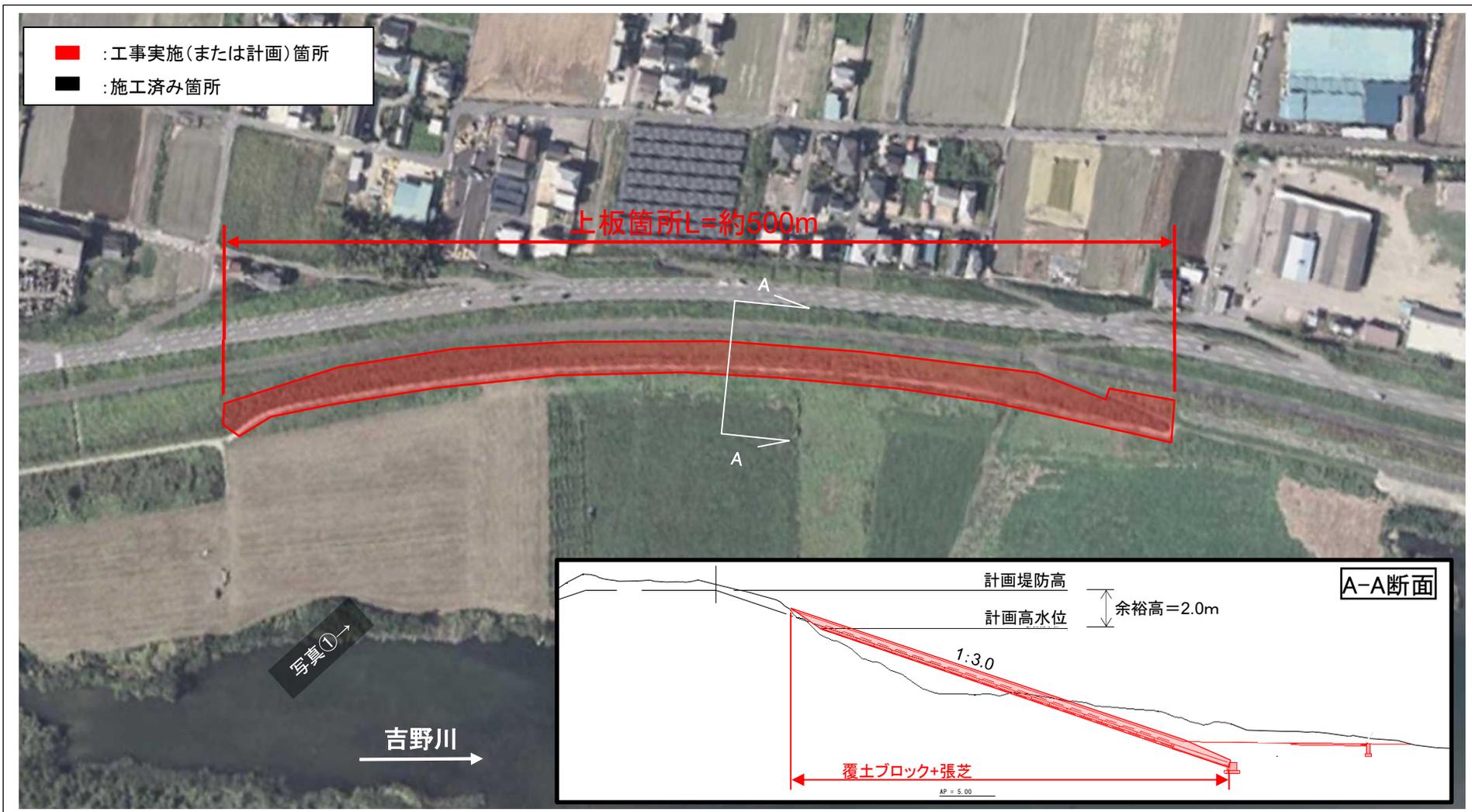
【左岸】

【右岸】

事業箇所

# (12)上板箇所 侵食対策事業進捗状況

- 上板箇所は湾曲した河道形状の影響により、外岸となる左岸側で流速が早くなりやすく、また堤防前面の河床が低いいため、高水敷として堤防近傍の流速を抑制する効果がなく、高速流による侵食リスクがあるため侵食対策を実施する。
- 令和7年度より工事着手しており完了の見込みである。

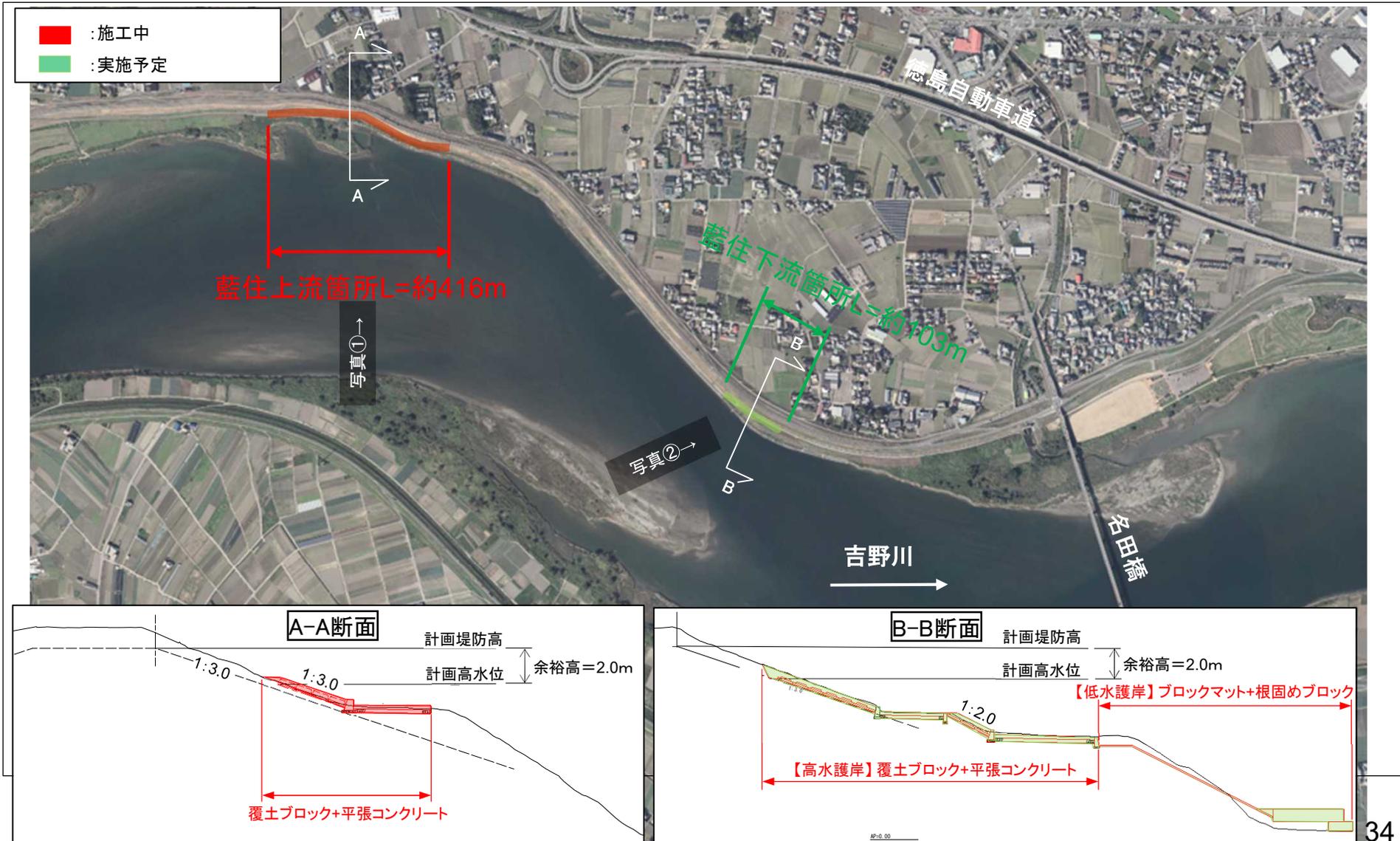


# (12)上板箇所 侵食対策事業進捗状況



# (13) 藍住箇所 侵食対策事業進捗状況

- 藍住箇所は、砂州の拡大(二極化)により、洪水時に堤防へ向かう流れが発達すると推定され侵食リスクが高いため、侵食対策を実施する。
- 令和7年度より工事着手している。

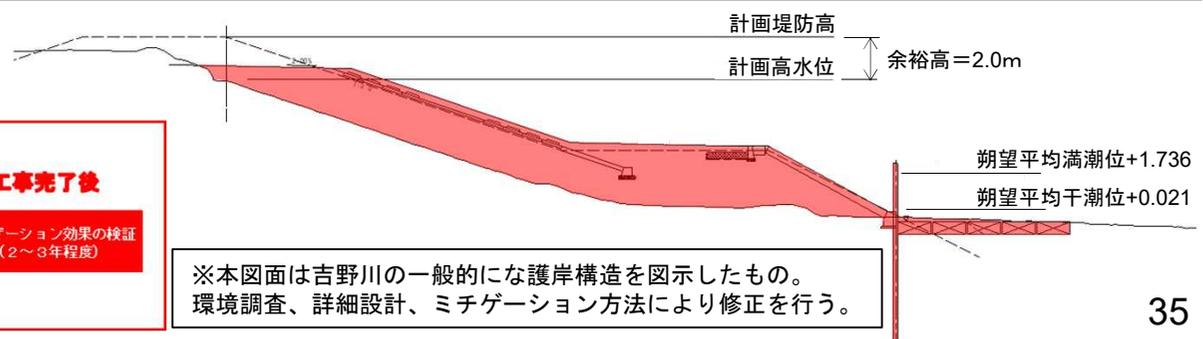


# (14) 応神箇所 侵食対策事業進捗状況

- 応神箇所は、高水敷がないため堤防前面に高速流が発生することが考えられ、侵食リスクが高いため、高水敷造成、高水護岸設置等の対策を実施予定。
- 当該箇所は、良好な干潟環境が形成されている。またスジアオノリの養殖も盛んであり、これらに配慮する必要がある。環境調査、護岸設計を進めながらミチゲーション方法等について検討していく。



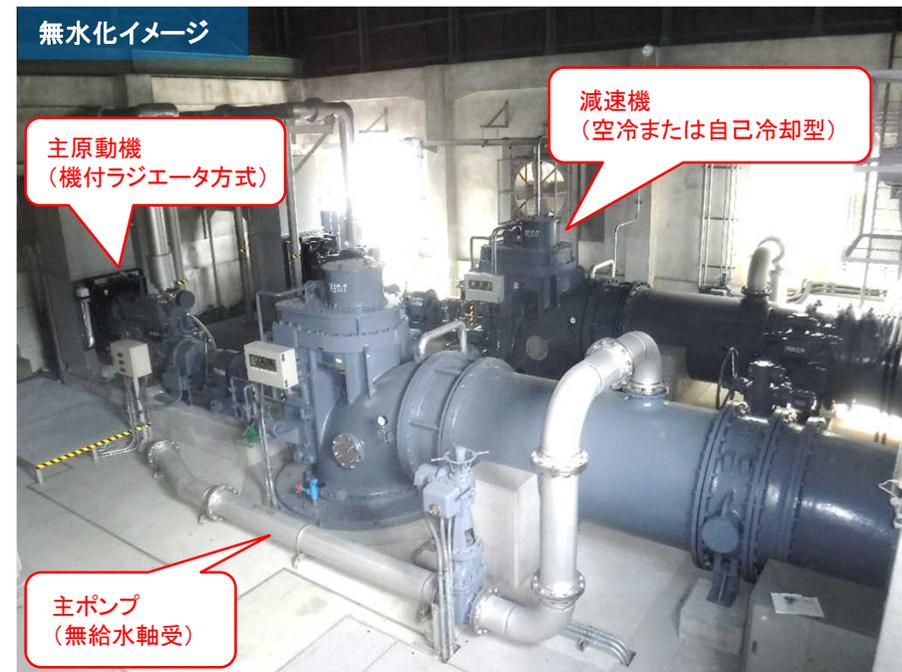
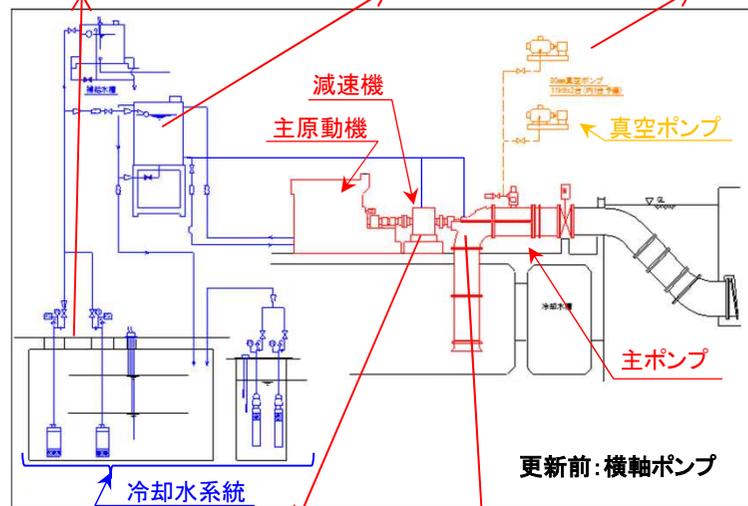
A-A断面



※本図面は吉野川の一般的な護岸構造を図示したもの。  
環境調査、詳細設計、ミチゲーション方法により修正を行う。

## 2. 施設の維持管理(ポンプ・原動機改善(無水化))

- 排水機場については、老朽化等により施設を更新するタイミングに合わせて、ポンプ設備の改善(無水化)を実施している。
- 従来の施設ではポンプ稼働時の冷却のために、冷却水ポンプ、高架水槽、送水のための配管類を要していたが、無水化(ラジエーター方式や空冷方式を採用)することで、施設をコンパクト化し、点検費用の削減や故障リスクの低減を図る。
- 令和5年度から柿の木谷川排水機場(吉野川左岸27k000付近)の無水化に着手している。(令和7年度完成予定)
- 引き続き、適切な維持管理に努めていく。



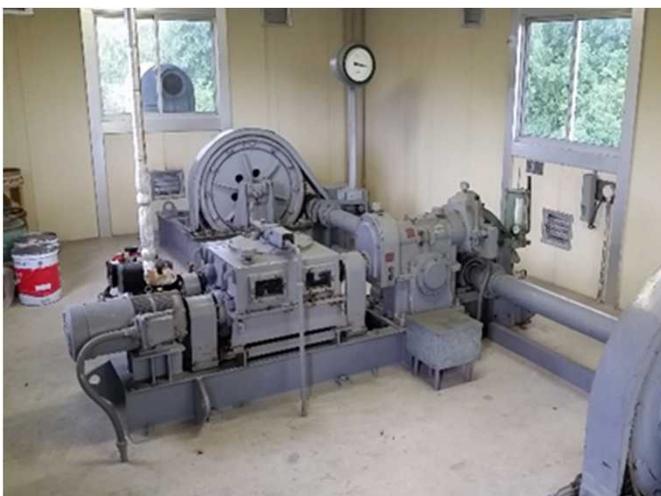
無水化実施機場合例:

- 冷却水ポンプ「撤去」
- 高架水槽「撤去」
- 各軸受け部への送水配管「撤去」

## 2. 施設の維持管理(樋門の開閉装置更新)

- 樋門の開閉装置について、老朽化に伴い更新を実施するタイミングで、ワイヤロープ式から緊急時の自重効果機能を付加することができるラック式開閉装置への更新を実施している。
- 令和6年度より土井谷樋門(吉野川左岸42k+200付近)外2樋門の開閉装置更新を実施中。
- 引き続き、適切な維持管理に努めていく。

現状(ワイヤロープ式):



更新後(ラック式):

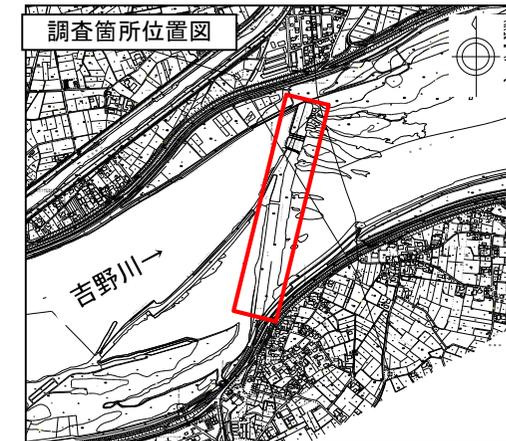
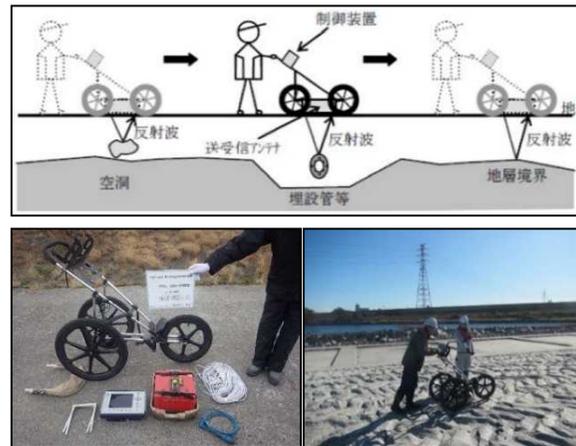
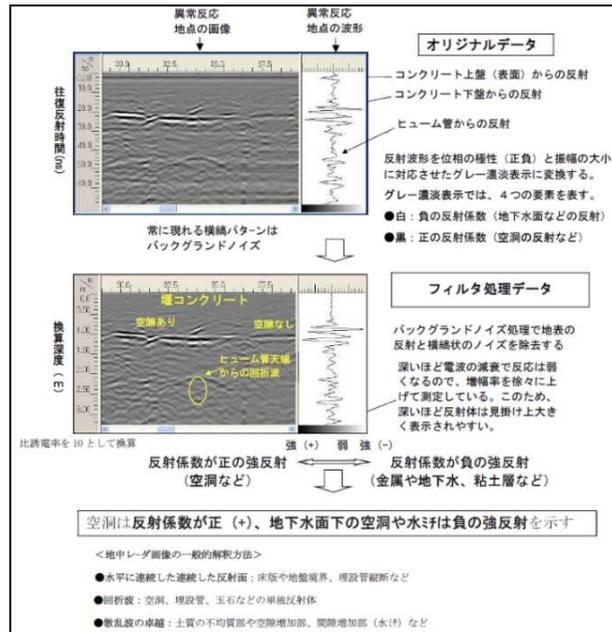


## 2. 施設の維持管理(第十堰空洞化調査)

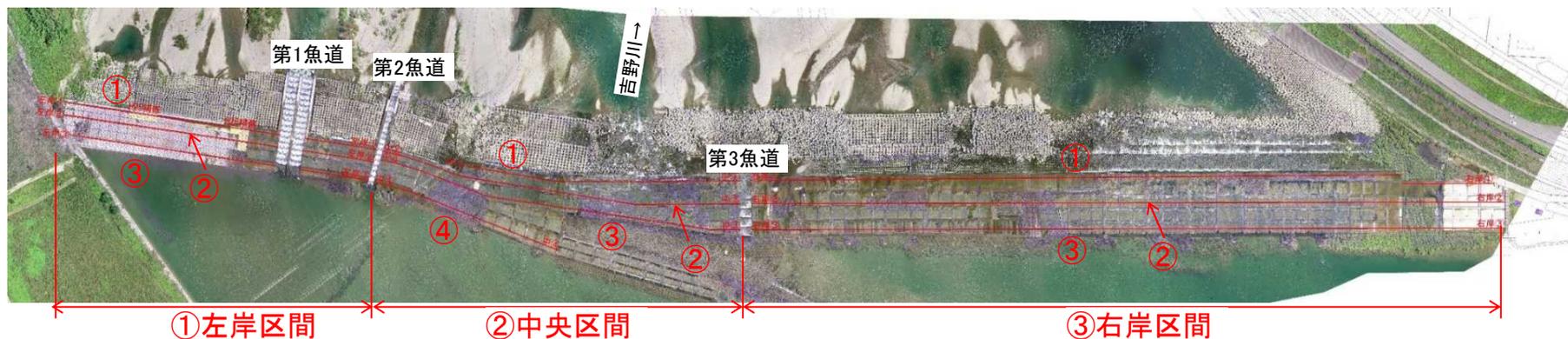
- 堰の変状などについて、近年では大きな変化は見受けられないものの、過去に把握している空洞の状態や新たな空洞の発見を目的に令和8年1月ごろから令和元年度と同様の空洞化調査を実施予定。
- また、空洞化が想定される箇所にはコア削孔を実施し、ファイバースコープ等を使用して空洞量等を確認する。

### 前回調査の概要(R元年)

前回調査時(R元年)は、全体調査を行い、空洞が確認(強反応)できた箇所について、詳細調査を実施し、空洞の大きさ等を確認。



全体調査範囲図



## 2. 施設の維持管理(第十堰空洞化調査)

### 前回調査の概要(R元年)

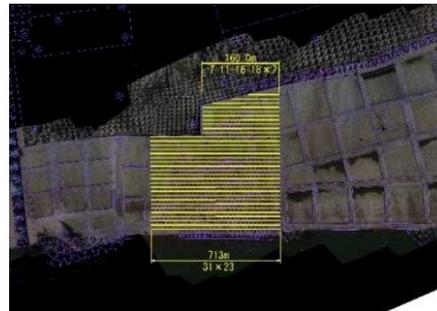
- 全体調査(側線調査)の結果をもとに、空洞の恐れのある4箇所(空洞①箇所・③箇所・④箇所・みずみち想定箇所)について、詳細調査(1mメッシュ調査)を実施。
- 前回調査(令和元年度)では、4箇所の空洞を発見したが、メッシュ調査の結果、過年度と同程度の空洞範囲であったため、進行性は低いとの結果であった。



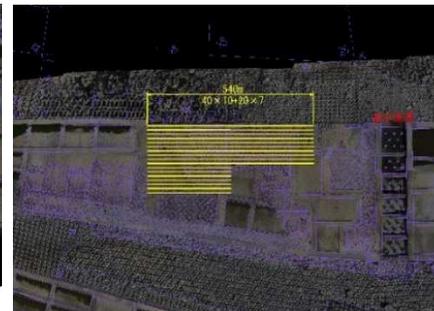
空洞①箇所調査範囲



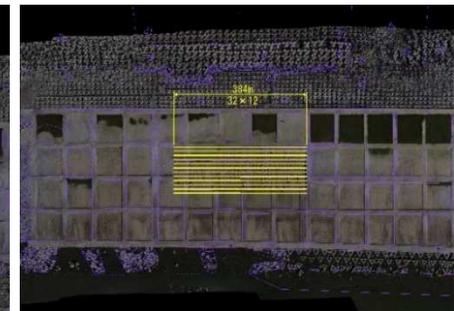
水みち想定箇所調査範囲



空洞④箇所調査範囲



空洞③箇所調査範囲



### 3. 総合水系環境整備事業(旧吉野川自然再生事業)

- 旧吉野川の岸辺の一部を掘削して、かつてその場所の環境を代表する生物(着目種)の生息場所(水路・ヨシ原・湿地等)を再生することで、『コウノトリ』の採食場所となる湿地の創出にもつなげる自然再生事業を推進する。
- 自然再生事業により、かつてのコウノトリと人が共生する多様な生態系を有する豊かな自然環境を再生し、地域の多様な主体と連携した生態系ネットワークを形成することで、地域活性化や観光振興に貢献する。
- 令和5年度に「旧吉野川津慈地区湿地環境づくりワーキング」を新たに設け、事業地のよりよい湿地環境の創出並びに利活用や管理運営の具体化について検討を行っている。
- また、昨年度に実施した第1期試験施工(湿地浅)において、モニタリング調査を実施中である。
- 今年度は、掘削する高さを変更した第2期試験施工(湿地深)を実施予定である。

#### 『徳島県流域コウノトリ・ツルを舞う生態系ネットワーク推進協議会』

- 開催回数：年1回程度
- 構成：学識者/市町長/行政/関係団体等
- 主な役割：流域全体構想の策定・推進・更新

#### 『地域ワーキング』

事業の実施にあたって、地域の関係主体が参加して具体的な取組を検討、推進

#### 『旧吉野川津慈地区湿地環境づくりワーキング』

- ・事業地のよりよい湿地環境の創出並びに利活用や管理運営の具体化について検討

#### 『鳴門地区地域・人づくりワーキング』

- ・鳴門市における魅力的な地域づくりや人材育成等の具体的な事業の推進や地域の課題について検討

#### 『旧吉野川津慈地区管理運営あり方検討ワーキング』(休止中)

- ・事業地にて直接的な管理を行う事業者を募集するサウンディング調査の実施
- ・アドプト等を活用した管理運営公募等について検討

※事業地の湿地創出イメージが出来た時点でサウンディング調査を再度実施し、事業地の管理運営にあたって企業からの寄付や協賛を募る

【検討・推進体制】



### 3. 総合水系環境整備事業(早明浦ダム周辺かわまちづくり)

- 本山町・土佐町・大川村に点在する活動、情報拠点区間を強化し、早明浦ダム、吉野川の水辺利用の促進を図り、早明浦ダムの豊かな自然資源とアクティビティのネットワーク化、周辺地域全体の観光促進・活性化を目指すとともに、水源地域の役割や重要性の周知を目的に、令和3年度より着手。
- 本事業において、必要な河川管理施設を自治体と連携し整備を図る。  
(管理道・階段整備、高水敷保護、親水護岸、スロープ整備 等)



湖面を中心とした様々なスポーツアクティビティ

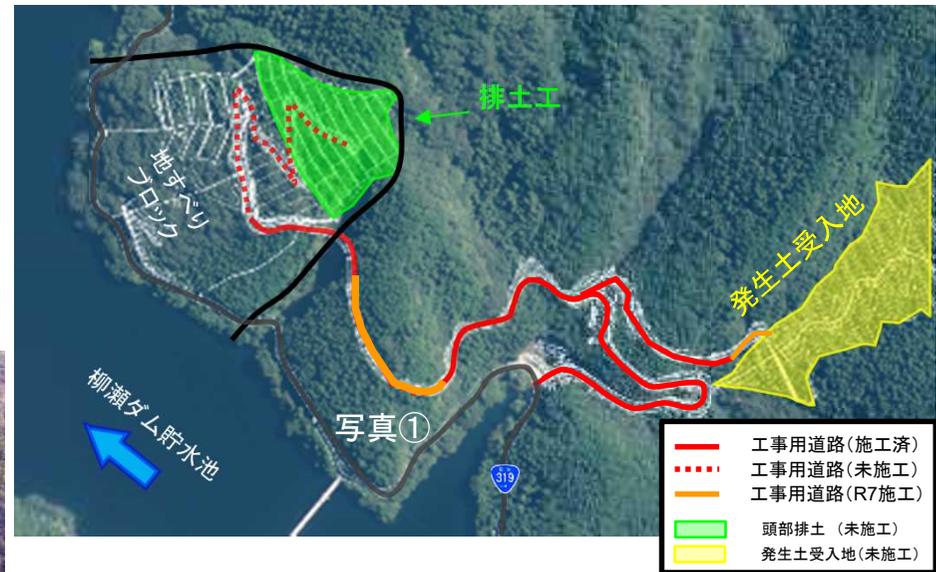


早明浦ダム下流は  
四国屈指のカヌー会場  
ラフティングも人気



# 4. 柳瀬ダム 宮前地区地すべり対策

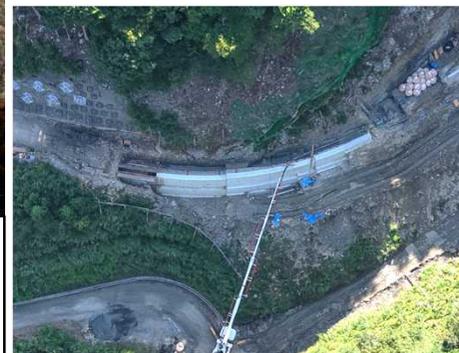
- 柳瀬ダム貯水池周辺の宮前地区(ダムサイト右岸上流約1.5km)において、大規模な地すべりが確認されている。
- ダム貯水池への影響が懸念されるため、平成25年度より地すべり対策工に着手しており、令和7年施工においては道路用工事のため、補強土壁工L=60m、軽量盛土工L=80mの施工を行っている。



【写真①】工事用道路施工状況(R7.9)



＜地すべりブロック＞  
 ・幅 約250m、斜面長 約400m  
 ＜地すべり対策工＞  
 ・地すべり頭部の排土(土砂撤去)を行い、斜面の安定を図る。



補強土壁工 L=60m



軽量盛土工 L=80m

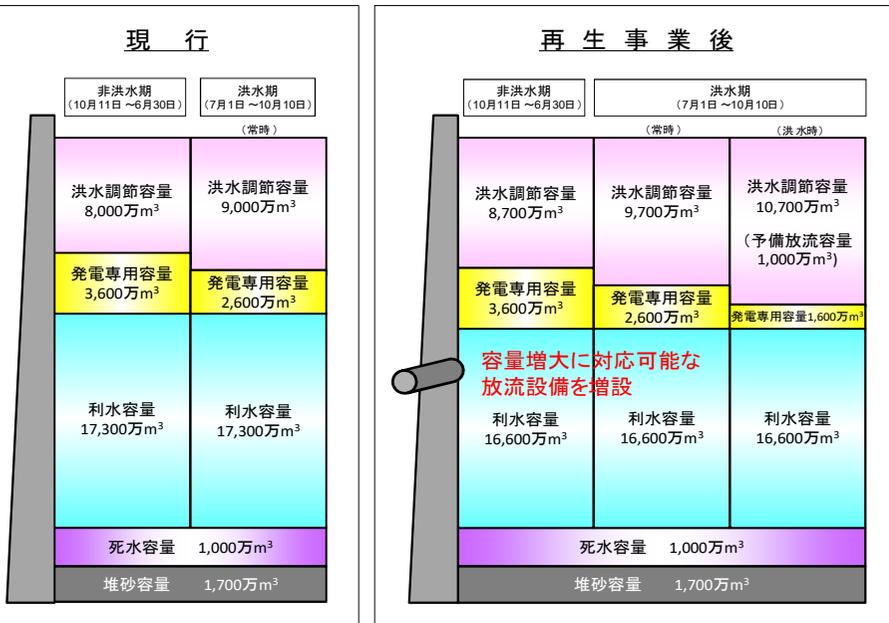
# 5. 早明浦ダム再生事業

## 事業の概要

- 事業の目的：治水機能を向上させ、吉野川の洪水による被害軽減を図る。
- 事業の内容：利水容量の振り替え及び予備放流の導入により、洪水調節容量を増大させる。併せて放流能力確保のため放流設備を増設する。
- 総事業費：約500億円
- 工期：平成30年度～令和10年度

<既設ダム諸元>

型式：重力式コンクリートダム 堤高：106m  
 堤頂長：400m 総貯水量31,600万<sup>m</sup>³



# 5. 早明浦ダム再生事業

## 進捗状況

- ▶ 令和4年度までに、準備工事として、工事用道路、建設発生土受け入れ地整地及び管理設備の移設等を実施。
- ▶ 令和5年4月に本体工事等を契約し、5月より増設洪水吐工事、9月より上流仮締切工事に現地着手している。
- ▶ 令和7年3月に3号放流管箇所が貫通。

工事等工程表

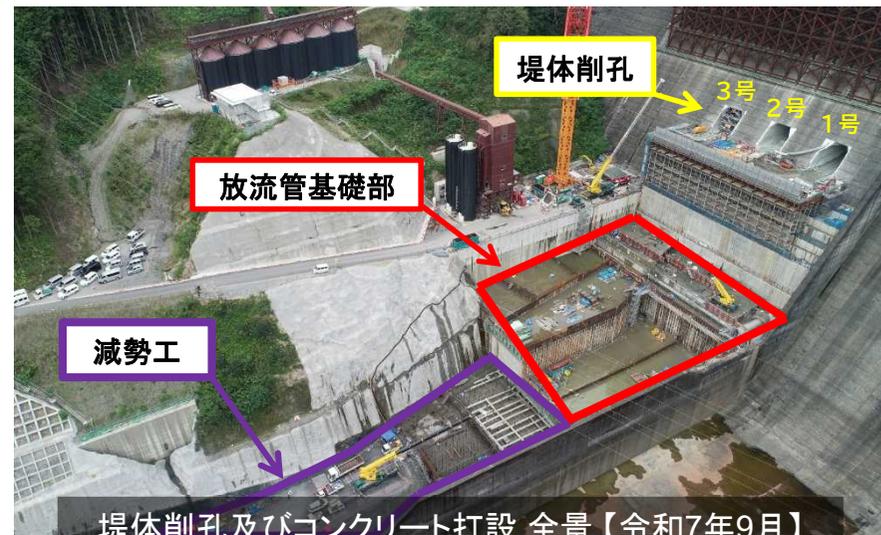
| 本体工事                | 年度                        |              |           |           |           |            |
|---------------------|---------------------------|--------------|-----------|-----------|-----------|------------|
|                     | R5 (2023)                 | R6 (2024)    | R7 (2025) | R8 (2026) | R9 (2027) | R10 (2028) |
| 仮設工 (仮締切・仮棧橋・仮設構台等) | 上流仮締切・仮棧橋・仮設構台等設置～維持管理～撤去 |              |           |           |           |            |
| 堤体工 (堤体削孔)          |                           |              | 堤体削孔      |           |           |            |
| 減勢工 (増設)            | 基礎掘削・コンクリート打設             |              |           |           |           |            |
| 機械設備工 (放流管・ゲート等)    |                           | 放流管・ゲート製作・据付 |           |           |           |            |
| 電気・通信設備工            |                           |              |           | 制御設備制作据付  |           |            |



工事範囲全景【令和7年9月】



放流管設置状況(下流側)【令和7年9月】



堤体削孔及びコンクリート打設 全景【令和7年9月】

## 6. その他(流域講座の取り組み)

- 旧吉野川沿川では、第十堰で堰上げられた水が第十樋門から旧吉野川を流下して安定的に供給されることにより、工業地帯が広がり、地域産業が発展している。
- 徳島河川国道事務所では、吉野川の水利用や河川事業への理解を促進するべく、令和7年3月から旧吉野川流域企業を対象に、順次流域講座を開催。

### 講座の様子



### 開催実績

3月 5日：東亜合成(株)  
3月12日：四国化成工業(株)  
3月26日：大鵬薬品工業(株)  
3月28日：日清紡HD  
4月11日：日亜化学工業(株)  
5月12日：大塚製薬(株)  
6月 9日：(株)大塚製薬工場  
6月10日：東邦セールス(株)  
6月26日：パナソニックエナジー(株)  
7月24日：新日本理化(株)  
8月 5日：シオノギファーマ(株)

### 聴講者の感想

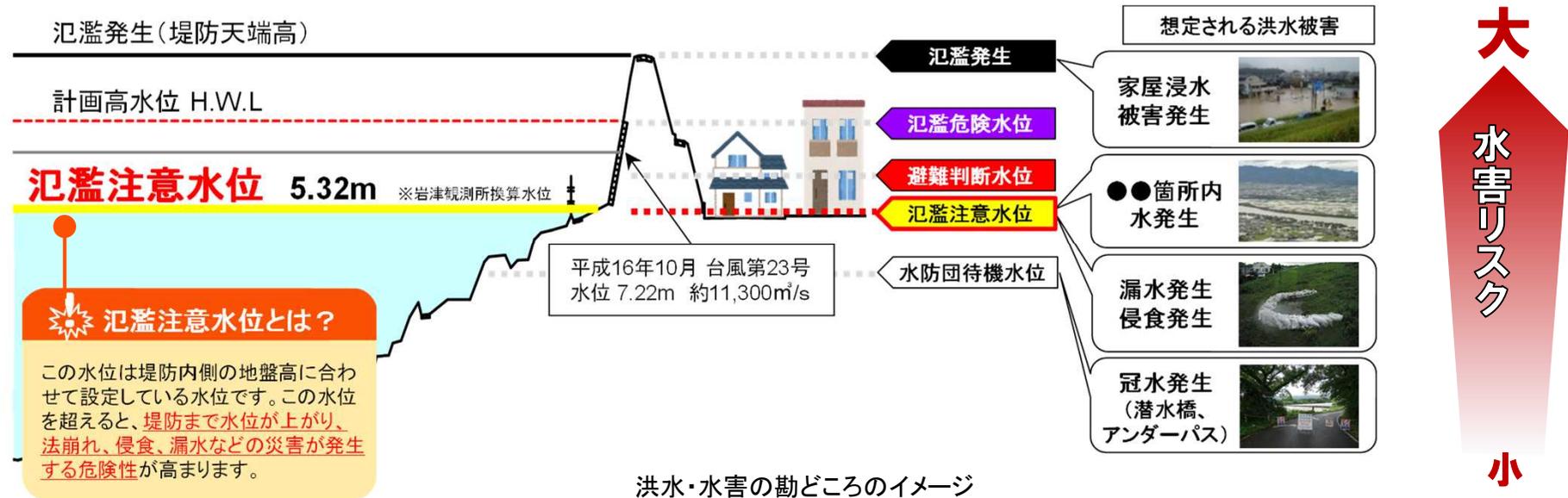
- 旧吉野川の河川名称に「旧」とついている意味がよく分かりました。吉野川流域の自然環境や生活環境への影響についても興味が出ました。
- 自然災害に対する先人のご英断や、事業により守られている水資源は徳島の誇りだと思いました。それらによってもたらされる様々な恩恵に心から感謝いたします。『流域講座』で学んだ取り組みや知識は、水(地球)を守っていくための様々な課題に向き合う時も、広い視点で考えることが出来ます。ますます多くの方に知っていただき、その時々により良い判断にもつながればいいなと思いました。
- 工業用水はもちろん、普段何気なく利用している生活用水がどのように供給されているのか知ることができました。また、これまでの経験、学びにより現在の吉野川が形成されていること、今後はこれを維持管理しつつ、より高い安心を得るために調査を続けていく必要があることを理解いたしました。この度は、貴重な機会をありがとうございました。
- 吉野川の治水・利水の変遷を学ぶことができ、官民が協力することの重要性の理解が深まりました。
- 徳島は長きに渡り河川と共存し多くの犠牲の基、現在の堤防等々が出来上がった歴史に感銘を受けました。

徳島河川国道事務所では、ご要望に応じた流域講座を実施いたします。



# 6. その他(洪水と水害の勘どころ)

- 流域治水の自分事化をより一層進めていくために、洪水時の避難判断の目安として、市町毎の見ておくべき水位情報や水位別の水害リスク等の情報をまとめた「洪水と水害の勘どころ」を作成し、令和7年6月に各市町の職員向けに配布・公表。
- 作成にあたっては、沿川の14市町とヒアリングを行い、指摘・要望を踏まえた改善を実施。
- 今後は大きな洪水が発生した際にリスクの見直しを行い、より実態に近いリスク情報の提供に努める。



➤ **吉野川における池田ダム放流量と水害の目安**

|         |                         |                  |
|---------|-------------------------|------------------|
| 池田ダム放流量 | 1,000m <sup>3</sup> /s  | 潜水橋冠水通行止め        |
| 池田ダム放流量 | 4,000m <sup>3</sup> /s  | ●●箇所下流端から冠水開始    |
| 池田ダム放流量 | 7,000m <sup>3</sup> /s  | 樋門閉鎖による内水氾濫の可能性  |
| 池田ダム放流量 | 7,500m <sup>3</sup> /s  | 堤防の侵食、堤防からの漏水が発生 |
| 池田ダム放流量 | 11,000m <sup>3</sup> /s | ●●箇所から外水氾濫の可能性   |

**各市町とのヒアリング**

✓ 沿川14市町にヒアリングを行い、指摘を踏まえた改善を実施。

洪水と水害の「勘どころ」(徳島河川国道事務所HP) : <https://www.skr.mlit.go.jp/tokushima/bousai/kandokoro/kandokoro.html>

# 6. その他(洪水と水害の勘どころ)

- ▶ 各市町へのヒアリングを実施し、自治体の職員が必要と思う情報を追加。また勘どころの活用に向けての意見聴取も実施し、改善をおこなった。今後も大きな出水が発生した際に、情報の更新・改善を実施していく予定。

## 1 防災上、役立つ情報を明示

### 洪水が流下する時間



- ✓ ダムが放流した洪水が何時間後、下流に到達するかの目安を記載

### 洪水特性

- ✓ 吉野川の水害リスクが高まりやすい洪水特性を記載

| 洪水発生年月日          | 原因    | 前津上流24時間雨量(mm) | 前津最大流量(m <sup>3</sup> /s) | 被害・概要等                               |
|------------------|-------|----------------|---------------------------|--------------------------------------|
| 1961 昭和36年 8月14日 | 台風19号 | 309.1          | 約13,000                   | 浸水被害4,684ha、死者15名、4827人、床上浸水3,782人、  |
| 1970 昭和45年 8月21日 | 台風19号 | 315.9          | 約12,000                   | 浸水被害4,976ha、床上浸水4,827人、床上浸水3,627人、   |
| 1974 昭和49年 8月 9日 | 台風19号 | 289.7          | 約10,500                   | 浸水被害4,486ha、床上浸水4,827人、床上浸水3,429人、   |
| 1975 昭和50年 8月23日 | 台風19号 | 286.9          | 約10,500                   | 浸水被害4,894ha、床上浸水4,827人、床上浸水3,199人、   |
| 1976 昭和51年 8月23日 | 台風19号 | 321.9          | 約11,000                   | 床上浸水4,827人、床上浸水3,199人、床上浸水3,199人、    |
| 1990 平成 2年 7月28日 | 台風19号 | 317.0          | 約10,500                   | 浸水被害198ha、床上浸水307人、床上浸水203人、         |
| 2004 平成16年 8月21日 | 台風19号 | 277.0          | 約10,500                   | 浸水被害1,976ha、床上浸水4,827人、床上浸水3,429人、   |
| 2004 平成16年 8月23日 | 台風19号 | 310.0          | 約10,500                   | 浸水被害1,976ha、床上浸水4,827人、床上浸水3,429人、   |
| 2006 平成18年 8月21日 | 台風19号 | 375.0          | 約13,000                   | 吉野川浸水被害面積 696ha、床上浸水167人、床上浸水117人、   |
| 2011 平成23年 8月21日 | 台風19号 | 317.0          | 約11,000                   | 吉野川浸水被害面積 1,016ha、床上浸水167人、床上浸水117人、 |
| 2014 平成26年 8月21日 | 台風19号 | 315.9          | 約10,500                   | 浸水被害1,976ha、床上浸水4,827人、床上浸水3,429人、   |
| 2014 平成26年 8月23日 | 台風19号 | 285.9          | 約10,500                   | 浸水被害1,976ha、床上浸水4,827人、床上浸水3,429人、   |
| 2011 平成23年 8月21日 | 台風19号 | 286.9          | 約10,500                   | 浸水被害1,976ha、床上浸水4,827人、床上浸水3,429人、   |

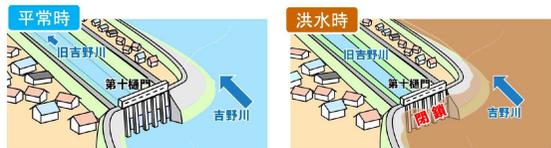


### 過去の洪水被害一覧

### 台風経路のイメージ図

### 第十樋門の操作方法

- ✓ 洪水時の操作方法等各市町で役に立つ情報を記載



吉野川からの水を分水して、生活・農業・工業用水として利用

第十樋門を完全に閉鎖し旧吉野川に洪水が流入しないよう操作

## 2 侵食、漏水、内水、外水が発生する可能性があるダム放流量及び水位を明示

### ダム放流量及び水位と水害リスク(吉野川市の例)

- ✓ ダム放流量もしくは上流の水位から、下流にどのような洪水リスクがあるかの目安を記載



### 吉野川における池田ダム放流量と水害の目安

| 池田ダム放流量                   | 水害リスク                     | 目安             |
|---------------------------|---------------------------|----------------|
| 1. 0.00m <sup>3</sup> /s  | 潜水橋(川島橋、学島橋) 冠水通行止め       | 【岩津水位: 2.00m】  |
| 2. 0.00m <sup>3</sup> /s  | 江川樋門閉鎖による内水高さの可能性(江川)     | 【中央橋水位: 3.00m】 |
| 2. 500m <sup>3</sup> /s   | 飯尾川樋門閉鎖による内水高さの可能性(飯尾川)   | 【中央橋水位: 3.20m】 |
| 3. 0.00m <sup>3</sup> /s  | 川島樋門閉鎖による内水高さの可能性(桑村川)    | 【岩津水位: 3.00m】  |
| 4. 0.00m <sup>3</sup> /s  | 学島樋門閉鎖による内水高さの可能性(学島川)    | 【岩津水位: 3.60m】  |
| 7. 0.00m <sup>3</sup> /s  | 善入寺島が下流端から冠水開始            | 【岩津水位: 3.70m】  |
| 7. 0.00m <sup>3</sup> /s  | ほたる川樋門閉鎖による内水高さの可能性(ほたる川) | 【岩津水位: 4.90m】  |
| 7. 0.00m <sup>3</sup> /s  | 堤防の侵食、堤防からの漏水が発生          | 【岩津水位: 5.30m】  |
| 11. 0.00m <sup>3</sup> /s | 善入寺島が全島冠水する               | 【岩津水位: 7.20m】  |

注) 池田ダム放流量から当該箇所までの流下時間を考慮する必要がある。河床状況によって、記載の数値は変動するため、おおよその目安である。

**ポイント**  
ダム放流もしくは上流の水位を確認し、ダム放流から当該箇所までの流下時間を考慮しつつ、今後下流にどういった洪水リスクが生じる可能性があるのか事前に知っておくことが重要。